

学内広報

for communication across the UT



特集：自転車整理スタッフ、活躍中。

～施設部における障害者雇用の新たな取り組み～



2007.6.13

No. 1359

自転車整理スタッフ、活躍中。

～施設部における障害者雇用の新たな取り組み～

近頃、本郷キャンパス内の自転車置き場周辺がきれいになったと思いませんか？ それは、施設部の自転車整理スタッフが、構内に置かれている何千台もの自転車を整然と並べてくれているからです。今回の特集では、この自転車整理スタッフの活動状況を紹介します。

----- 障害者雇用の経緯 -----

施設部環境課では、4月から自転車整理スタッフとして、聴覚障害者の職員3名とコーディネーター1名が新たな仲間として加わりました。自転車整理スタッフは、自転車の整理・整頓を中心に学内交通に関する業務を行っています。

障害者雇用の必要性は十分認識していても、実際に雇用するとなると、様々な課題に直面し躊躇してしまうものです。しかし環境課では、施設部にとっても大学にとっても大きな戦力になると考え、業者委託をするのではなく障害者雇用という道を選び、施設部職員として一緒に働いてもらうことにしました。

自転車整理スタッフの紹介

障害者就労支援現場
日本一を目指します



永山俊一
コーディネーター

4月から障害者就労支援のコーディネーターとして、3人の聴覚障害者と一緒に自転車整理をしています。手話はできないため、3人とのコミュニケーションは身振り手振り、筆談等で会話をしています。

施設部のスタッフの暖かいサポートの下、日々、自転車整理に励んでいます。4人とも自転車整理の仕事は初めてですが、「きれいになった」との声を励みに、これからも4人で協調し合い、障害者就労支援現場日本一を目指したいと思います。構内は緑が多く、学生さんの入学・卒業の笑顔と四季の変化を楽しみに仕事を続けていきたいと思っています。

東京大学の役に立ちたい
見守っててください



秋元博行
スタッフ

私は耳に障害を持っています。東京大学で働く前は、紙コップを作る作業等をしていました。東京大学に採用になって驚いたことは、自転車が何千台もあるという事実です。あちこちに自転車が止められていたので作業は大変でしたが、日が経つにつれて整理が進み、綺麗になってきたことを嬉しく思っています。

自転車利用者の皆さんへは、学内ルールを守って決められたところに自転車を止めて欲しいと思っています。

これからも東京大学のために、一生懸命自転車の整理をして役に立ちたいと思いますので、わたしたちを見守ってください。

敷地が広く大変ですが
仕事は楽しいです



北野一夫
スタッフ

私は耳が聞こえないですが、自転車整理の仕事はできます。横浜で単身赴任をしており、毎日通勤する電車は満員で、家から大学まで2時間かかりますが、仕事は楽しいです。

東京大学は敷地が広いだけでなく、自転車がいっぱいあって整理するのに時間がかかります。

最近気になるのが、メトロ食堂入口にある自転車です。ここは点字ブロックが置いてある場所なので、前にあるラックを利用して欲しいです。利用者の方には、決められたところに置くのを面倒だと思わないで、きちんと駐輪して欲しいと思います。

「ありがとう」の言葉に
嬉しく思っています



真鍋由美子
スタッフ

4月から自転車整理スタッフの仕事始めて2ヶ月になるうとしています。6,000台以上も自転車が構内にあることは全く考えもしませんでした。施設部やバリアフリー支援室のスタッフの優しいご指導をもらいながら、整理の仕事を進めています。私は耳が不自由ですが、たまに「ありがとう」「すみませんね」と学生たちに話しかけられるので嬉しく思っています。（私は相手がゆっくり話せば、口元を見て言葉を読み取ることができます。）

これからも名誉ある東京大学のために、4人で力を合わせて、笑顔を忘れないで頑張っていくつもりです。よろしくお願ひします。

活動状況

雑多な風景が整然と美しく

自転車整理スタッフの仕事は、簡単に言うと、駐輪場内の自転車の整理・整頓、駐輪場以外に止めてある自転車を近くの駐輪場に移動することです。時々誤解されますが、撤去や廃棄しているわけではありません。構内の自転車による雑多な風景を整然とした美しい状態に保つために、指定された駐輪場に運んでいるのです。「自転車が無くなった」という方がいましたら、近くの指定駐輪場を見てみてください。きれいに並んでいるはずですよ。

作業時間は、午前9時30分から午後4時30分。晴れた日は、本部棟周辺からスタートし本郷地区だけでなく、弥生・浅野・病院地区も回ります。1週間で全学を回るようにしています。駐輪場の位置が今年度決められたばかりなので、指定された場所以外に駐輪する人もまだ多いですが、前年度と比べると、キャンパス全体が綺麗になったと感じられます。写真の3箇所は東大の顔、玄関口とも言える場所なので、重点的に整理しており、その結果が形となって表れています。



本部棟周辺

安田講堂前

赤門前

雨の日は屋内で活躍

雨で作業のできない日は、パソコンを使ってのデータ入力作業、自動車許可証の作成、書類の整理など環境課の補助作業を行っています。パソコンが苦手な人もいますが、全員で助け合いながら業務を行っています。



申請書のデータ入力業務



自動車許可証の作成

コミュニケーション方法

あらゆる手段でコミュニケーション

コーディネーターを含め環境課には、手話ができる人はおろか、聴覚障害者の方と接したことがある人さえ、ひとりもいませんでした。コミュニケーション方法としては、手話・筆談・口話等がありますが、一番多く使うのは筆談です。その際には、かきポンくん（磁気でボードに書く道具）が活躍しています。聞こえないとはいえ、身振り手振り、雰囲気などで察してもらえるので、コミュニケーションに思ったほど不自由は感じません。

あるとき自転車整理スタッフが手話で会話をし、笑っていました。真鍋さんが後で、「冗談を言ってるの」と教えてくれました。私たちのわからないところで、会話を楽しんでるみたいです。

一緒に作業をしていると、移動時間や休憩時間に手話を教えてもらいます。単語をつなげて文章にできると嬉しくなるものです。英語等と違い、ことばと手話の単語はなんとなくイメージでつながっているのだから分かります。「寒い」は震えるようなしぐさ、「見る」は指で輪を作って目から遠ざけるしぐさ。簡単な単語なら誰でもすぐ覚えられると思いました。また、人によって手話の得意不得意があり、筆談も得意不得意があります。1ヶ月も接していれば、誰がどの方法が得意なのか分かってくるので、その人に合わせたコミュニケーション方法をとるように心がけています。

意思の伝わりやすさや接し方は一人ひとりの性格によるようです。そういうところは障害の無い私たちと同じなんだ、というのは強く感じています。そうすると障害自体も個性なんだなと実感します。

（総務担当：岡部）



かきポンくん筆談中
岡部(左)と北野(右)

手話の紹介

私たちが、最初に教わった手話を紹介します。仕事をする上で、多くの場面で活用しています。



あいさつ

向かい合わせて立てた両手の
人差し指を折り曲げる



お疲れさま

右手でこぶしを作って、左手の手首
のところをトントンと2回たたく。



ありがとう

右手を垂直に立てて、
左手の甲をトンとたたく。

（イラスト：岡部）

最後に

聴覚障害者であることは、外見だけでは分かりにくいものです。そのため、学生から話しかけられているのに気付かなかつたり、逆に学生に伝えたいことが伝えられなかったりすることが、しばしばあります。耳が不自由な方は、話すことも難しいため、伝えたい言葉をうまく発声することができません。

自転車整理スタッフと共に働くようになり2ヶ月が経ちます。新しい取り組みのため、環境課内でも試行錯誤しながら進めています。現在、自転車整理スタッフは、施設部職員と同じ部屋にいます。聴覚障害者と健聴者が共存する上で1番難しいことは、やはりコミュニケーションです。しかし、共に居るとわかるのですが、意外と身振り手振りで、こちらが言いたいこと、気持ちが伝わるのです。

今後は、東京大学でも障害者と共存していく部署が増えていくはずですが、自転車整理スタッフにとって働きやすい環境を作り、大学にとってもモデルケースとなるような職場環境にしていければと考えています。

ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

問い合わせ先 施設部環境課環境企画チーム 戸田（内線：22255）

NEWS



学生部

平成19年度（前期）東京大学学術研究活動等奨励事業（国外）の採択決まる

本学大学院学生の国外における研究活動の活性化を図るため、平成16年度後期より実施された「東京大学学術研究活動等奨励事業（国外）」に関して、4月25日（水）の東京大学学生生活委員会奨学部会において、平成19年度前期（平成19年6月～11月出発）応募者の審査が行われ、83件の実施計画が採択された。応募者は204名であった。なお、研究科別の応募及び採択状況は以下のとおりである。

研究科名	応募者数	採用者数	主な渡航先
人文社会系研究科	30	8	ヤンゴン、アムフレット諸島、モンサバ、ザルツブルグ、パリ、ノースカロライナ、ロンドン、ヌメア
教育学研究科	3	3	シンガポール、北京、上海
法学政治学研究科	2	2	北京、オースチン・ダラス
経済学研究科	3	3	プノンペン、トリエステ、長春
総合文化研究科	24	8	リスボン、パリ、リュブリアナ、モスクワ、レーゲンスブルク、タリン、シドニー、マドリード
理学系研究科	28	9	カルガリー、ストックホルム、イーストラランシング、ケルン、メリダ、シドニー、ハワイ
工学系研究科	36	14	カルフォルニア、アントワープ、ブリュッセル、ケアンズ、ジェノバ、トロント、マリーランド州、ロンドン、ハミルトン島、シンガポール
農学生命科学研究科	34	9	マニラ、北京、アデレード、プエルトバラダ、アルマティ、バンコク、ヴィテルボ、チェンマイ
医学系研究科	8	7	ヴィエンチャン、ケアンズ、キガリ、シドニー、ロンドン、ハンブルグ、ボストン
薬学研究科	10	4	サンディエゴ、ダブリン、カルガリー
数理科学研究科	2	2	サンノゼ
新領域創成科学研究科	16	7	ロンボク島、ラスベガス、トリエステ、リヨン、ハワイ、ボストン、ソウル
情報理工学系研究科	5	4	リヨン、サンディエゴ
学際情報学府	3	3	ビエナ、エッセン、上海
合計	204	83	



学生部

「東京大学外国人留学生特別奨学制度 平成19年度研究奨励費受給者証書授 与式」を開催

「東京大学外国人留学生特別奨学制度平成19年度研究奨励費受給者証書授与式」が、5月21日（月）13時15分から、関係役員等の臨席の下に御殿下記念館で開催された。

本制度は、「大学院における特に優秀な私費外国人留学生に対し研究奨励費を支給することにより、本学での学術研究への取組を支援するとともに、諸外国からの優秀な留学生の受入促進に資すること」を目的として、平成16年度から設立されたものである。

本年度は、修士課程大学院学生6名、博士課程大学院学生20名の合計26名（月額15万円、支給予定期間：平成19年4月から標準修業年限の最終月まで）が受給者として決定され、当日は浅島誠理事（副学長）から受給者一人一人に受給者証書が手渡された。



東京大学外国人留学生特別奨学制度受給者証書授与

次いで、浅島理事（副学長）から「多くの応募者の中から選ばれた皆さんに、学業に専念していただき、日本と各国の架け橋となって国際的発展に貢献していただきたい。次世代の留学生のためにもご活躍いただきたい」旨の挨拶があった。引き続き、受給者を代表して大学院農学生命科学研究科の尤園さんから、「家族、指導して下さった先生や研究仲間、支援してくれた方への感謝の思いでいっぱいです。愛情や支援、励まし、榮譽に対してお返しするよう、より高い目標に向かってより熱心に研究に取り組みます」と英語で感謝のスピーチがあった。

<問い合わせ先>

学生部生活支援課奨学チーム 内線22520



平成19年度研究奨励費受給者と関係者



研究協力部

事務職員による海外研修報告会を開催

5月23日（水）13時半より、医学部教育研究棟13階第6セミナー室において、平成18年度に海外研修に参加した事務職員による報告会を開催しました。

これまで、本学が主催する長期・短期の海外研修及び他機関の制度を利用した海外派遣プログラムに参加した職員による報告の機会はありませんでしたが、今回初めて報告会を企画しました。これは、今後、海外の大学において得た知識や調査内容等の研修成果を本学職員の間でより広く共有し、大学に成果を還元する試みの一つです。今回は8名が研修の成果を報告しました。



パワーポイントによる研修成果の報告

当日は、上杉道世理事を始め120名を超える職員が熱心に耳を傾けていました。また、新規採用職員も研修の一環として参加しました。長期研修参加者は、語学研修や国際業務実務研修における具体的な様子を、多くの写真を交えたパワーポイントで紹介しました。また、短期研修参加者は、各人が設定したテーマに基づいて行った調査で得た情報を基に、本学と海外の大学における業務

体制を比較し、本学への具体的な業務改善提案のプレゼンテーションを行いました。いずれも新しい視点を交えた興味深い発表内容で、各発表者に対して、参加者から多くの質問が出され、非常に活発な意見交換がなされました。

報告会終了後も、積極的に研修参加者に声をかける職員の姿が見られるなど、本プログラムへの関心を高める点においても、大変有意義な報告会となりました。



報告会の様子

AGS推進室、サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)

映画「不都合な真実」東京大学上映会開催報告

一般

映画「不都合な真実」東京大学上映会～地球環境について考えるタベ～を、東京大学AGS、サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)、東京大学地球持続戦略研究イニシアティブ (TIGS) の主催、東京大学生命科学教育支援ネットワークの協力により、6月4日 (月)、安田講堂において開催しました。AGSの助成企業やAGSクラブの関係者をはじめ、本学学生、教職員、約650人の参加者がありました。

上映会は、第一部：討論「IPCC第4次報告書の意義」、第二部：映画「不都合な真実」上映という二部構成で実施しました。



討論「IPCC第4次報告書の意義」の様子

岡村定矩理事・副学長の開会挨拶に続き、IPCC第4次報告書の執筆者でもある4名のパネリストが、IPCCの会議における様子の説明や報告書の意義などについて討論を行ないました。また、映画「不都合な真実」についての科学的側面の解説も行なわれました。

パネル討論に引き続き、映画「不都合な真実」の上映を行ないました。安田講堂には十分な上映設備がないため、今回のような映画上映はほとんど記録に残っていないとのことでしたが、十分な機材を搬入して映画館さながらの臨場感ある映像と音響を提供することができました。

上映後回収したアンケートでは、映画「不都合な真実」が投げかけたメッセージに感銘を受けた方が多く、地球温暖化防止に何か行動したいとの記述も多数見られました。

今後とも東京大学AGSおよびサステナビリティ学連携研究機構では、研究プロジェクトを推進するとともに公開シンポジウムやこのようなイベントを通して、サステナブルな社会実現のための一助を担えればと考えております。

6月4日 「不都合な真実」上映会プログラム

岡村定矩理事・副学長開会挨拶

第1部 討論「IPCC第4次報告書の意義」

パネリスト

住 明正

東京大学地球持続戦略研究イニシアティブ (IGS) 統括ディレクター・教授

沖 大幹

東京大学生産技術研究所教授、TIGS協力教員

三村 信男

茨城大学 (IR3S参加大学)

地球変動適応科学研究機関 (ICAS) 機関長・教授

江守 正多

国立環境研究所 (IR3S協力機関)、

地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長

第2部 映画「不都合な真実」上映 (配給UIP映画)

An Inconvenient Truth
映画「不都合な真実」東京大学上映会
～地球環境について考えるタベ～

■日時
6月4日(月) 18:00～20:20
17:30入場開始

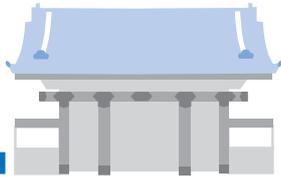
■会場
東京大学本郷キャンパス安田講堂

■プログラム
開会挨拶 岡村 定矩 理事・副学長
第一部 討論「IPCC第4次報告書の意義」(日本語)
18:00～18:45
パネリスト
住 明正 東京大学地球持続戦略研究イニシアティブ(TIGS) 統括ディレクター・教授(現職)
沖 大幹 東京大学生産技術研究所教授、TIGS協力教員
三村 信男 茨城大学 地球変動適応科学研究機関(ICAS) 機関長・教授
江守 正多 国立環境研究所 地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長
第二部 映画「不都合な真実」上映 (配給: UIP映画) ～日本語字幕付
18:45～20:20
上映開始後には安田講堂への入場ができませんので注意ください。

■入場無料(事前登録必須)
■参加申込みURL
http://www.ags.u-tokyo.ac.jp/

■主催
東京大学AGS
サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)
東京大学地球持続戦略研究イニシアティブ(TIGS)
協力: 東京大学生産技術研究所教育支援ネットワーク
※本報上場発行: 東京電力(株) 発行: 東京 電話: 0647-1396

部局 ニュース



大学院法学政治学研究科・法学部、大学院公共政策学教育部

部局
新入生歓迎会、外国人留学生等との
懇談会を開催

5月24日（木）18時から、山上会館1階談話ホールにて法学政治学研究科綜合法政専攻の新入生歓迎会および法学政治学研究科と公共政策学教育部共催による外国人留学生等との懇談会が合同で開催された。

ゲストの学生、客員研究員、日本人学生チューター、教職員等、総勢135名が出席し、非常に熱気あふれるパーティーになった。



西川綜合法政専攻長（左）と発表者たち

西川洋一教授（法学政治学研究科綜合法政専攻長）の司会進行で、井上正仁法学政治学研究科長の挨拶、森田朗公共政策学教育部長による乾杯の後、歓談に入った。

宴たけなわになった頃、学生を代表して綜合法政専攻博士課程1年生の伏見岳人さんが、研究を進める上での自身の心構えを話した。次に、綜合法政専攻修士課程1年生のブライヤー・クリスタルさん（アメリカ合衆国出身）が、指導教員やチューターに対する感謝の気持ちを語った。最後に、綜合法政専攻博士課程3年生のソン・ヒョンソプさん（韓国出身）が、同じ寮に住む東大の友人2名とともに「2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調」と「TSUNAMI」の演奏を披露した。

普段は研究活動に忙しい学生たちだが、この日ばかりは教員や友人と大いに親睦を深め、和やかな雰囲気の中20時に散会した。



（写真左）伏見岳人さん

（写真右）ブライヤー・クリスタルさん

（写真下）ソン・ヒョンソプさん（左）、
山本義人さん（中央）、小野雄人さん（右）

史料編纂所

部局
「日本関係清代档案をめぐる国際研究
集会」を開催

5月29日（火）、史料編纂所（横山伊徳所長）と日本学士院の共催する「日本関係清代档案をめぐる国際研究集会」が、本郷学士会館（分館）で開催された。

史料編纂所では、ロシアを含む東アジア所在日本関係史料の系統的な調査研究に力を注いでおり、2006年度からは中国第一歴史档案馆の協力を得て、同館が所蔵する清代档案（史料）1000万件から日本関係档案のデジタル画像による抽出・収集と研究に取り組んできた。昨年度は軍機処録副のうち、約2400点分の目録と5000枚のデジタル画像の提供を受けることが出来た。中国第一歴史档案馆は北京市の故宮内に位置している。今回提供を受けた档案類も、いわば皇帝決濟書類の写に当たり、18世紀から20世紀初頭に至る多くの貴重な史料を含んでいる。本学にとっても、日中関係史を研究するために不可欠な学術資源となるものである。



王道瑞氏の報告

プロジェクト2年目にあたる今回は、馮伯群副館長ら同館の研究者を招き、東京大学創立130周年記念事業として研究集会を開催した。当日は、プロジェクト責任者の保谷徹教授が経過報告を行い、次いで中国第一歴史档案館の王道瑞研究員（『歴史档案』副編集長）から「中国第一歴史档案館の文献館時期における档案文献編纂事業の概略」と題した報告がおこなわれた。これは1920～30年代に、現在の档案館の前身である「故宫博物院文献館」がおこなった史料研究（整理）と史料集編纂がテーマとなっており、当時の画像も紹介されるなど、参加者は熱心に聞き入っていた。この報告は、史料編纂所の研究紀要に掲載される予定である。



通訳する黄榮光共同研究員
(中国科学院自然科学史研究所)

この研究集会に先立ち、档案館一行は共催した日本学士院を訪問し、久保正彰幹事（本学名誉教授）と歓談した。今回の取り組みは同院の「国際学士院連合連携事業：未刊行日本関係史料収集事業」の一環として行なわれている。

今年度のプロジェクトでは、皇帝の朱批が入った宮中档案を対象とする計画であり、今からその成果が楽しみである。

大学院医学系研究科・医学部

部局

加藤尚武・京都大学名誉教授が生命・医療倫理人材養成ユニットに特任教授として着任

加藤尚武・京都大学名誉教授が、2007年6月1日付で、本学医学系研究科生命・医療倫理人材養成ユニット特任教授に着任いたしました。（任期は2008年3月まで）

加藤教授は、東京大学大学院（哲学）を修了後、千葉大学教授、京都大学教授を歴任、2001年3月に京都大学を定年により退官された後は、鳥取環境大学・初代学長の重責を果たされました。この間、加藤教授は、哲学、倫理学、特にヘーゲルを中心としたドイツ観念論の研究に専念され、その成果は数々の受賞歴が示すように常に高い評価を受けてきました。同時に、欧米における生命倫理・環境倫理等の応用倫理学の議論を1980年代よりいち早く輸入紹介し、日本における応用倫理学研究の基盤を構築するとともに、単なる紹介にとどまらない独自の立場から、社会への問題提起を精力的に続けています。とりわけ、近年は、生命・医療倫理の問題として注目を集めている代理出産についてメディア等を通じて発言するとともに、日本学術会議における生殖補助医療検討会の委員も務められています。

本年度、加藤教授は、生命・医療倫理人材養成ユニットの特任教授として研究者養成の任務に当たるとともに、インターネットや講演会を通じて、専門家以外の人々にも分かりやすい生命・医療倫理に関する情報提供をしていただく予定です。

生命・医療倫理人材養成ユニットホームページ
<http://square.umin.ac.jp/CBEL/>

キャンパス ニュース



学生部

五月祭開催される

キャンパス

第80回五月祭は、5月25日（金）午後の学内公開から始まり、5月26日（土）、27日（日）の一般公開と3日間にわたり、本郷キャンパスで開催され、講演会、研究成果の展示、音楽演奏、趣向を凝らした各種パフォーマンスや模擬店等、388件の企画で賑わった。一般公開日両日は初夏を思わせるほどの晴天となり、両日合わせて約65,000人（昨年約58,000人）が来場した。



オープニングセレモニーの様子

今年は、第80回の節目を迎えることから、総長をはじめ、教授、卒業生からのコメントをまとめた記念誌（H a t c h !）を発行、屋外での記念展示やパレードの実施、マスコットキャラクター（はちまる君）も出現し、和太鼓の鳴り響く中、図書館前でのオープニングセレモニーで五月祭は始まった。屋外では、音楽や模擬店からの呼び声、パフォーマンスへの歓声が響きわたり、屋内では、例年、好評を博している奇術愛好会によるステージマジックショー等に加え、東大レゴ部による安田講堂模型に人気集中していた。



メイフェスティバルアワード2007文化部門に選ばれた
「レゴ部五月祭展示（東大レゴ部）」

関東地域での麻疹の流行という予期せぬ時期に重なったが、開催にあたっては、五月祭常任委員会が主体となり、参加企画全構成員にワクチン接種の有無・罹患歴の確認を義務付ける等の感染防止策を講じた。また、当日は各門での自主的な入構制限を促す内容の立看板の設置、ビラの配布、メガホンによる呼びかけ、各企画場所においても注意喚起のポスターを掲示する等、来場者への安全面に配慮する対策をとった。



赤門前での麻疹注意喚起風景

企画終了後は、会場清掃やゴミの分別作業等も効率良く進行され、大きな事故もなく終了することができた。あらためて学生の熱意を感じさせられたとともに、ご協力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げたい。

学生部

キャンパス

平成19年5月1日現在学生数—学部学生14,241人、大学院学生13,622人、研究生等761人—

本学では、毎年5月と11月の年2回、同月1日現在の学生数を調査し「学内広報」に掲載している。本年5月1日現在の学生数は次のとおりである。

平成19年5月1日現在 学部学生・研究生・聴講生数調

種別 入進学 年度別 性別	在籍者												在籍者のうち、外国人学生 及び休学者 (再掲)				外国人学生 (再掲)		外国人 (再掲)		聴講生			
	平成19年度		平成18年度		平成17年度 (以前)		平成16年度		平成15年度 (以前)		小計		合計		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
	学部・課程別																							
前期課程・教養学部	2,563	583	2,516	631	330	37					5,409	1,251	6,660	135	53	188	30	8	38	-	-	-	-	-
法学部	329	103	317	117	288	46					934	266	1,200	10	7	17	35	11	46	-	-	-	11	3
後 医学科	83	17	80	22	87	16	3	16	13	88	354	71	425	1	0	1	11	2	13	16	4	20	0	0
健康科学・看護学科	9	18	8	8	5	6					22	32	54	0	0	0	0	1	1	4	17	21	0	0
工学部	876	77	872	87	159	9					1,907	173	2,080	51	12	63	25	5	30	19	2	21	7	1
文学部	227	134	210	135	114	42					551	311	862	6	9	15	17	12	29	5	2	7	0	0
理学部	284	36	238	34	44	1					566	71	637	16	4	20	9	0	9	0	0	0	0	0
農学部	191	65	200	55	33	5					424	125	549	6	2	8	4	3	7	9	4	13	1	0
課程	20	11	22	10	19	12	10	10	1	0	82	43	125	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	310	54	286	63	93	12					689	129	818	8	7	15	13	5	18	-	-	-	-	2
教養学部	113	55	106	55	55	20					274	130	404	6	7	13	23	9	32	3	4	7	0	0
教育学部	71	37	53	52	19	11					143	100	243	1	2	3	5	2	7	7	1	8	0	0
薬学部	60	31	64	24	3	2					127	57	184	2	2	4	1	0	1	2	4	6	0	0
小計	2,573	638	2,456	662	919	182	108	23	17	3	6,073	1,508	7,581	108	53	161	143	50	193	65	38	103	8	1
合計	5,136	1,221	4,972	1,293	1,249	219	108	23	17	3	11,482	2,759	14,241	243	106	349	173	58	231	65	38	103	8	1

備考) 1. 農学部の上段は獣医学課程を除く各課程の合計数を、下段は獣医学課程の数を示す。
 2. 平成16年度(以前)の欄については、医学部医学科・農学部獣医学課程は平成16年度入進学者のみ、他の学部学科は平成16年度以前の入進学者数を示す。

平成19年5月1日現在大学院学生・研究生・外国人研究生数調

研究 科等 名	種別 課程別 入進学 年度 性別	在籍者												在籍者のうち 外国人学生(再掲)						在籍者のうち 休学者(再掲)						大学院 研究生		特別 研究生														
		修士及び専門職学位課程						博士課程						修士(専門職 学位課程)			博士課程			男女		男女		男女																		
		19年度		18年度		17年度 以前		19年度		18年度		17年度		16年度 以前		合計		合計		合計		合計		合計		合計																
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女													
人文社会系	19年度	60	54	81	47	42	28	183	129	312	62	46	68	35	59	42	169	111	358	234	592	12	26	35	44	117	16	13	110	91	230	21	28	49	4	8	2	2				
	合計	[195]	[101]	[190]	[95]	[61]	[61]	[446]	[257]	[703]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[703]	[6]	[0]	-	[6]	[2]	[6]	-	[8]	-	-	-	-	-	-	-	-				
教育学	19年度	52	41	42	42	13	2	107	85	192	28	19	19	25	16	24	32	53	95	121	216	2	13	8	23	46	13	1	26	46	86	5	16	21	8	5	13	1	0	1		
	合計	[195]	[101]	[190]	[95]	[61]	[61]	[446]	[257]	[703]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[703]	[6]	[0]	-	[6]	[2]	[6]	-	[8]	-	-	-	-	-	-	-	-				
経済学	19年度	50	14	49	9	5	0	104	23	127	21	10	22	5	29	2	56	10	128	27	155	282	10	10	6	2	28	6	0	57	7	70	2	1	3	2	0	2	-	-		
	合計	[195]	[101]	[190]	[95]	[61]	[61]	[446]	[257]	[703]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[703]	[6]	[0]	-	[6]	[2]	[6]	-	[8]	-	-	-	-	-	-	-	-				
総合文化	19年度	167	93	146	102	49	35	362	230	592	99	60	105	54	90	57	179	166	473	337	810	1,402	23	33	54	82	192	34	29	125	113	301	26	35	61	12	8	20	6	8	14	
	合計	[195]	[101]	[190]	[95]	[61]	[61]	[446]	[257]	[703]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[703]	[6]	[0]	-	[6]	[2]	[6]	-	[8]	-	-	-	-	-	-	-	-				
理学系	19年度	266	69	285	79	25	11	576	159	735	148	32	154	30	176	37	89	21	567	120	687	1,422	6	8	19	8	41	6	7	15	5	33	5	5	10	0	10	4	3	7	7	
	合計	[195]	[101]	[190]	[95]	[61]	[61]	[446]	[257]	[703]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[703]	[6]	[0]	-	[6]	[2]	[6]	-	[8]	-	-	-	-	-	-	-	-				
工学系	19年度	799	83	810	118	119	26	1,728	227	1,955	142	34	221	44	274	41	187	54	824	173	997	2,952	185	63	266	89	603	29	9	35	19	92	67	29	96	17	4	21	1	1	2	
	合計	[16]	[1]	[16]	[1]	[17]	[1]	[16]	[1]	[17]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[17]	[1]	[0]	-	[1]	[0]	[1]	-	[1]	-	-	-	-	-	-	-	-				
農学	19年度	203	114	204	92	9	4	416	210	626	97	45	101	40	86	40	51	22	335	147	482	1,108	14	21	56	45	136	12	6	13	5	36	11	10	21	10	6	16	4	10	10	
	合計	[16]	[1]	[16]	[1]	[17]	[1]	[16]	[1]	[17]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[17]	[1]	[0]	-	[1]	[0]	[1]	-	[1]	-	-	-	-	-	-	-	-				
生命科学	19年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	3	15	7	11	5	13	7	52	22	74	74	74	-	-	9	9	18	-	-	3	2	5	1	0	1	14	6	20	1	0	1
	合計	[14]	[22]	[14]	[22]	[36]	[14]	[22]	[36]	[14]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[36]	[1]	[3]	-	[4]	[1]	[1]	-	[1]	-	-	-	-	-	-	-	-				
医学系	19年度	14	44	18	48	9	9	41	101	142	16	20	12	33	14	27	5	14	47	94	141	283	5	24	13	13	55	5	9	4	21	39	4	6	10	1	0	1	2	0	2	2
	合計	[14]	[22]	[14]	[22]	[36]	[14]	[22]	[36]	[14]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[36]	[1]	[3]	-	[4]	[1]	[1]	-	[1]	-	-	-	-	-	-	-	-				
薬学系	19年度	64	36	58	34	3	2	125	72	197	43	4	44	11	34	13	5	3	126	31	157	354	4	5	7	5	21	3	3	3	1	10	2	2	3	2	5	1	1	1		
	合計	[14]	[22]	[14]	[22]	[36]	[14]	[22]	[36]	[14]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[36]	[1]	[3]	-	[4]	[1]	[1]	-	[1]	-	-	-	-	-	-	-	-				
数理科学	19年度	43	1	43	1	7	1	93	3	96	16	1	16	2	17	0	6	1	55	4	59	155	7	2	11	0	20	0	0	0	1	1	3	0	3	1	0	1	0	0		
	合計	[14]	[22]	[14]	[22]	[36]	[14]	[22]	[36]	[14]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[36]	[1]	[3]	-	[4]	[1]	[1]	-	[1]	-	-	-	-	-	-	-	-				
新領域創成科学	19年度	333	88	323	92	29	16	685	196	881	86	31	107	34	105	29	37	28	335	122	457	1,338	49	28	46	17	140	7	6	18	12	43	15	4	19	3	0	3	2	5	5	
	合計	[16]	[1]	[16]	[1]	[17]	[1]	[16]	[1]	[17]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[17]	[1]	[0]	-	[1]	[0]	[1]	-	[1]	-	-	-	-	-	-	-	-				
情報理工学系	19年度	167	12	202	12	22	3	391	27	418	42	3	60	6	59	7	23	3	184	19	203	621	49	11	39	12	111	11	0	8	1	20	18	1	19	1	0	1	1	0	1	1
	合計	[67]	[34]	[72]	[30]	[21]	[4]	[160]	[68]	[228]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[228]	[9]	[6]	-	[15]	[4]	[1]	-	[5]	-	-	-	-	-	-	-	-				
学際情報	19年度	38	35	45	35	16	8	99	78	177	20	16	22	11	17	7	22	15	81	49	130	307	6	23	11	11	51	5	3	10	10	28	12	23	35	0	0	1	1	2	2	
	合計	[67]	[34]	[72]	[30]	[21]	[4]	[160]	[68]	[228]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[228]	[9]	[6]	-	[15]	[4]	[1]	-	[5]	-	-	-	-	-	-	-	-				
公共政策学	19年度	2,569	862	2,587	859	433	213	5,589	1,934	7,523	956	401	1,116	408	1,154	388	1,061	615	4,287	1,812	6,099	13,622	399	298	633	423	1,753	158	96	479	364	1,097	208	172	380	87	36	123	46	25	71	
	合計	[67]	[34]	[72]	[30]	[21]	[4]	[160]	[68]	[228]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[228]	[9]	[6]	-	[15]	[4]	[1]	-	[5]	-	-	-	-	-	-	-	-				

備考1. 専門職学位課程は、〔 〕書きで示す。
 2. 農学生命科学研究科、医学系研究科の下段学生数は、平成15年度以前の入学者を示し、外数である。
 3. 大学院研究生、特別研究生欄の()内は、外国人を示し内数である。
 4. 外国人学生には在日外国人を含む。
 5. 教育学研究科の大学院科目等履修生(25人)
 6. 法学政治学研究科の大学院科目等履修生(9人)
 7. 工学系研究科の大学院科目等履修生(0人)
 8. 薬学系研究科の大学院科目等履修生(0人)
 9. 情報理工学系研究科の大学院科目等履修生(0人)
 10. 公共政策学大学院科目等履修生(0人)
 11. 情報学環教育部研究生(148人)

ニュースページ、 インフォメーションページ への記事提出要領

「学内広報」は皆さんから送っていただく記事で作られています。下記の提出要領により、積極的に学内の情報をお寄せください。

1. 提出方法

記事は、各部局の広報担当者を通して、メールの添付ファイルとしてデータで送付すること。

2. 締切日

原則として各月第1・3水曜日を原稿の締切日とする（配布は翌々週の火曜日）。ただし祝日等により変更となる場合があるため、本学HPの左下にある「学内広報アイコン」をクリックして、発行スケジュールを確認すること。

3. 提出の際の留意事項

(1) 文字数

文字数は記事1件につき800字を目安とし、内容により増減は可とする。

(2) 写真

- ① 写真を掲載する場合はキャプション（説明文）を25文字以内で添えること。
- ② 写真を電子データで提出する場合、Wordファイルなどに貼り付けず、jpeg等の形式による元の画像ファイルを送付すること。
- ③ 写真は電子データがない場合、プリントのものも掲載可とする。

(3) 書式

- ① 原稿は1行25文字の書式で作成すること（ただし、大きな図表などが含まれる場合は、この限りではない）。
- ② 原稿のはじめに担当部局名と記事タイトルを記載すること。
- ③ 記事タイトルは極力簡潔でわかりやすいものとする。

(4) 文章表現のきまり

- ① 句読点は「、」「。」を用いること（「,」「.」は用いない）。
- ② 時間は24時間表記とし、日付には括弧書きで曜日をつけること。
- ③ この他、特に表記する必要のない「平成●年」は削除する、特に支障がない限り「東京大学」は「本学」とする等、表記統一のための修正を編集段階で行う。

※編集スケジュールの都合上、原則として校正はできません。基本的にはいただいた原稿がそのまま掲載されますので、内容に間違いのないよう、十分ご注意ください。

4. 問い合わせ先・提出先

総務部広報課広報企画チーム
TEL：03-3811-3393 内線22031
E-mail：kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

キャンパス

学生部

平成18年度学部卒業生及び大学院修了者の就職状況

学部卒業生は3,264人、そのうち就職者は1,120人（34.3%）、非就職者は2,144人（65.7%）。非就職者の大半が大学院進学者（1,682人）で、卒業生数に対する大学院進学者数の比率は51.5%と就職者数の比率34.3%を上回っている。以前は就職者の比率が大学院進学者等の比率を上回っていたが平成7年度卒業生で逆転し、翌平成8年度にはいったん元にもどったものの、次ぐ平成9年度には再び大学院進学者等比率が就職者比率を上回り、以後今年度まで引き続いている。

大学院修士課程・専門職学位課程修了者は3,245人、そのうち就職者は1,757人（54.1%）、非就職者は1,488人（45.9%）。非就職者のうち大学院博士課程への進学者等は950人である。

大学院博士課程修了者は1,619人、そのうち就職者は567人（35.0%）、非就職者は1,052人（65.0%）。博士課程修了者数に対する非就職者数の比率は平成12年度以降で最高である。なお、日本学術振興会の特別研究員等は非就職者数としてカウントしてある。

表1-1 学部卒業生の就職状況

表1-2 修士課程・専門職学位課程修了者の就職状況

表1-3 博士課程修了者の就職状況

表2-1 学部卒業生の産業別就職者数

表2-2 修士課程・専門職学位課程修了者の産業別就職者数

表2-3 博士課程修了者の産業別就職者数

表3 就職状況の推移（過去10年）

表4 産業別就職者数の推移（過去3年）

表5 （産業区分を「学校基本調査」の職業分類項目によらずに集計していた）平成15年度までの産業別就職者数の推移（過去5年）を、参考までに表5として掲示。

表1-1 平成18年度学部別卒業者の就職状況

平成19年5月1日現在

区分	学部別							農学部		医学部		薬学部	合計	比率 (%)	昨年度比率 (%)
	法学部	経済学部	文学部	教育学部	教養学部	理学部	工学部	農学	獣医学	医学	健康・看護				
学部卒業生数 (A)	609 (136)	348 (58)	333 (120)	113 (41)	202 (63)	276 (28)	878 (63)	259 (68)	30 (11)	97 (21)	28 (11)	91 (35)	3,264 (655)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
就職者数 (B)	276 (53)	270 (47)	212 (83)	74 (26)	68 (28)	18 (3)	114 (8)	59 (15)	19 (10)		6 (2)	4	1,120 (275)	34.3 (42.0)	32.4 (38.4)
その他 (A-B)	333 (83)	78 (11)	121 (37)	39 (15)	134 (35)	258 (25)	764 (55)	200 (53)	11 (1)	97 (21)	22 (9)	87 (35)	2,144 (380)	65.7 (58.0)	67.6 (61.6)
その他の内訳	学部再入学等	4 (2)	3	4 (1)			7 (1)	2	3			2 (1)	27 (5)	0.8 (0.8)	0.9 (2.0)
	大学院進学	150 (42)	42 (8)	75 (26)	28 (11)	122 (32)	240 (24)	731 (53)	188 (52)	9 (1)		15 (7)	1,682 (289)	51.5 (44.1)	52.9 (43.1)
	臨床研修医										96 (21)		96 (21)	2.9 (3.2)	2.8 (2.3)
	その他 [上記以外のもの]	179 (39)	33 (3)	42 (10)	11 (4)	12 (3)	11 (1)	31 (1)	9 (1)	2	1 (2)	5 (1)	339 (65)	10.4 (9.9)	11.0 (14.2)

注：() 内数字は、内数で女子

表1-2 平成18年度大学院（修士課程・専門職学位課程）研究科別修了者の就職状況

平成19年5月1日現在

区分	研究科別	人文社会系	教育学	法学政治学		経済学	総合文化	理学系	工学系		農学生命科学	医学系		薬学系	数理科学	新領域創成科学	情報理工学系	学際情報	*公共政策学	合計	比率 (%)	昨年度比率 (%)
				総合法政	*法曹養成				工学系	*原子力		医科学	保健学									
課程修了者数 (A)	135 (61)	69 (27)	15 (6)	282 (89)	63 (17)	209 (88)	347 (63)	884 (109)	17	283 (85)	18 (10)	55 (27)	93 (30)	38 (1)	423 (82)	174 (15)	59 (23)	81 (29)	3,245 (762)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
就職者数 (B)	24 (11)	28 (11)	3 (1)	5 (89)	28 (8)	77 (38)	158 (27)	677 (68)	15	182 (58)	1 (1)	12 (6)	39 (21)	23 (1)	247 (41)	137 (10)	29 (9)	72 (24)	1,757 (335)	54.1 (44.0)	52.8 (45.1)	
その他 (A-B)	111 (50)	41 (16)	12 (5)	277 (89)	35 (9)	132 (50)	189 (36)	207 (41)	2	101 (27)	17 (9)	43 (21)	54 (9)	15 (4)	176 (41)	37 (5)	30 (14)	9 (5)	1,488 (427)	45.9 (56.0)	47.2 (54.9)	
その他の内訳	学部再入学等	1					1	1		1			2	1			1		8	0.2 (0.1)	0.4 (3.0)	
	博士課程進学等	93 (38)	33 (12)	11 (5)		28 (8)	118 (43)	171 (31)	150 (26)	83 (22)	16 (9)	34 (17)	48 (6)	14 (24)	86 (3)	32 (12)	27 (3)	6 (3)	950 (259)	29.3 (34.0)	32.8 (37.0)	
	その他 [上記以外のもの]	17 (12)	8 (4)	1 (89)	277 (1)	7 (7)	14 (5)	17 (15)	56 (5)	2 (5)	17 (5)	1 (4)	9 (3)	4 (16)	90 (2)	4 (2)	3 (2)	3 (2)	530 (167)	16.3 (21.9)	14.1 (17.8)	

注：() 内数字は、内数で女子。*は専門職学位課程

表1-3 平成18年度大学院（博士課程）研究科別修了者の就職状況

平成19年5月1日現在

区分	研究科別	人文社会系	教育学	法学政治学	経済学	総合文化	理学系	工学系	農学生命科学		医学系		薬学系	数理科学	新領域創成科学	情報理工学系	学際情報	合計	比率 (%)	昨年度比率 (%)
									農学	獣医学	医学	保健学								
課程修了者数 (A)	136 (48)	45 (21)	18 (5)	34 (6)	178 (60)	204 (33)	311 (62)	156 (49)	22 (6)	204 (62)	42 (27)	45 (5)	20 (1)	127 (32)	65 (2)	12 (2)	1,619 (421)	100.0 (100.0)	100.0 (100)	
就職者数 (B)	42 (15)	11 (4)	5 (2)	20 (5)	43 (13)	57 (6)	120 (23)	40 (11)	10 (5)	92 (36)	12 (7)	27 (1)	8 (5)	32 (5)	40 (1)	8 (2)	567 (136)	35.0 (32.3)	40.8 (37.9)	
その他 (A-B)	94 (33)	34 (17)	13 (3)	14 (1)	135 (47)	147 (27)	191 (39)	116 (38)	12 (1)	112 (26)	30 (20)	18 (4)	12 (1)	95 (27)	25 (1)	4	1,052 (285)	65.0 (67.7)	59.2 (62.1)	
その他の内訳	学部/大学院再入学等	2					8 (1)	1		1						1	13 (1)	0.8 (0.2)	0.2 (62.1)	
	その他 [上記以外のもの]	92 (33)	34 (17)	13 (3)	14 (1)	135 (47)	139 (26)	190 (39)	116 (38)	12 (1)	111 (26)	30 (20)	18 (4)	12 (1)	95 (27)	25 (1)	3 (284)	1,039 (67.5)	64.2 (67.5)	59.0 (62.1)

注：() 内数字は、内数で女子

表 2-1 平成18年度学部卒業者の産業別就職者数

平成19年5月1日現在

産業別	学部別							農学部		医学部		合計	比率(%)	
	法学部	経済学部	文学部	教育学部	教養学部	理学部	工学部	農学	獣医学	医学	健康・看護			薬学部
農・林・漁業														
鉱業	1		3				5					5	0.4	
建設業	2	1	4	2			1	1				13 (3)	1.2 (1.1)	
製造業	16 (1)	39 (5)	32 (9)	9 (2)	8 (4)	1	31 (3)	6 (3)	9 (6)		1	153 (33)	13.7 (12.0)	
電気・ガス・熱供給・水道	11 (2)	3	3 (1)	3 (1)			1					21 (4)	1.9 (1.5)	
情報通信業	18 (5)	15 (1)	73 (27)	12 (7)	10 (3)	3 (1)	17	8 (1)	1 (1)		2	159 (46)	14.2 (16.7)	
運輸業	7	6	12 (3)	4	1	1	5 (1)	2				38 (4)	3.4 (1.5)	
卸売・小売業	14 (5)	13 (3)	11 (6)	5	13 (5)		4 (1)	4 (1)	1		1	66 (21)	5.9 (7.6)	
金融・保険業	75 (16)	113 (19)	28 (12)	9 (1)	11 (4)	7	17	17 (2)	1		1	280 (54)	25.0 (19.6)	
不動産業	5 (1)	4	1 (1)		1		3	1				15 (2)	1.3 (0.7)	
飲食店・宿泊業			1 (1)					1				2 (1)	0.2 (0.4)	
医療・福祉											2 (2)	2 (2)	0.2 (0.7)	
教育・学習支援業			6 (3)	5 (1)	4 (2)		4 (1)	2 (1)				21 (8)	1.9 (2.9)	
複合サービス事業							2					2	0.2	
サービス業	43 (9)	54 (13)	24 (12)	23 (11)	11 (5)	3 (1)	9 (1)	9 (3)	6 (2)			182 (57)	16.3 (20.7)	
公務	70 (12)	21 (5)	10 (4)	4 (3)	9 (5)	2	11	8 (4)	1 (1)			137 (34)	12.2 (12.4)	
上記以外のもの	14 (2)	1 (1)	4 (2)			1 (1)	4					24 (6)	2.1 (2.2)	
合計	276 (53)	270 (47)	212 (83)	74 (26)	68 (28)	18 (3)	114 (8)	59 (15)	19 (10)		6 (2)	4	1,120 (275)	100 (100)

注：() 内数字は、内数で女子

表 2-2 平成18年度修士課程・専門職学位課程修了者の産業別就職者数

平成19年5月1日現在

産業別	研究科別	人文社会系	教育学	法学政治学		経済学	総合文化	理学系	工学系		農学生命科学	医学系		薬学系	数理科学	新領域創成科学	情報理工学系	学際情報	*公共政策学	合計	比率(%)	
				総合法政	*法曹養成				工学系	*原子力		医科学	保健学									
農・林・漁業											3 (1)									3	0.2 (0.3)	
鉱業								1	5		1 (1)									7	0.4 (0.3)	
建設業								1	47 (7)		5 (3)					6 (1)				59 (11)	3.3 (3.2)	
製造業	2 (1)				3 (1)	31 (15)	71 (11)	327 (24)	1	85 (25)			2 (1)	26 (13)	1	102 (13)	56 (6)	4 (2)	5 (1)	716 (113)	40.5 (33.3)	
電気・ガス・熱供給・水道業		1 (1)				1	1	29 (5)	7							7				46 (6)	2.6 (1.8)	
情報通信業	8 (2)	2 (1)			2	5 (1)	24 (6)	47 (2)			22 (7)		2		5	35 (5)	49 (3)	11 (2)	7 (4)	219 (33)	12.4 (9.7)	
運輸業					1	2	2 (1)	29 (6)			1		1 (1)			8 (2)	1	1		40 (4)	2.3 (1.2)	
卸売・小売業	1 (1)					2	2 (1)	17			6 (1)		1			1				1	40 (4)	2.3 (1.2)
金融・保険業			1		14 (6)	5 (1)	21 (1)	49 (7)			10 (4)			2 (1)	11	25 (6)	18	3	16 (7)	175 (33)	9.9 (9.7)	
不動産業							1	6 (1)			2 (1)					3				2	14 (2)	0.8 (0.6)
飲食店・宿泊業							1	1			1 (1)									1	3 (1)	0.2 (0.3)
医療・福祉						2 (2)							1 (1)	1 (1)						5 (4)	0.3 (1.2)	
教育・学習支援業	4 (2)	12 (2)	2 (1)	5		3	3 (1)	7 (4)			7 (3)		1 (1)		4			2 (1)		52 (15)	2.9 (4.4)	
複合サービス事業					4 (1)		1	21	2		2 (1)			2 (2)		3				15 (5)	1.3 (1.2)	
サービス業	4 (1)	12 (7)				21 (17)	18 (6)	45 (7)	1		22 (5)		1 (1)	1	2 (2)	34 (9)	7	14 (7)	15 (5)	197 (67)	11.1 (19.8)	
公務	5 (4)	1			3	3 (1)	11 (1)	36 (4)	1		21 (6)		3 (2)	5 (2)	1 (1)	10 (3)	5 (1)		25 (7)	130 (32)	7.3 (9.4)	
上記以外のもの						2 (1)	12 (1)	3			3				1	4 (2)				22 (4)	1.2 (1.2)	
合計	24 (11)	28 (11)	3 (1)	5	28 (8)	77 (38)	158 (27)	677 (68)	15	188 (59)	1 (1)	12 (6)	39 (21)	23 (1)	247 (41)	137 (10)	35 (12)	72 (24)	1,789 (339)	100 (100)		

注：() 内数字は、内数で女子。*は専門職学位課程

表 2-3 平成18年度博士課程修了者の産業別就職者数

平成19年5月1日現在

産業別	研究科別	人文社会系	教育学	法学政治学	経済学	総合文化	理学系	工学系	農学生命科学		医学系		薬学系	数理科学	新領域創成科学	情報理工学系	学際情報	合計	比率(%)		
									農学	獣医学	医学	保健学									
農・林・漁業																					
鉱業							1													1	0.2
建設業							4 (1)	1												5 (1)	0.9 (0.7)
製造業	2 (1)				10 (4)	21 (2)	47 (8)	15 (6)	3		5 (3)		19	1	15 (2)	13 (1)			151 (27)	26.6 (19.9)	
電気・ガス・熱供給・水道業							1													1	0.2
情報通信業					1	3	4	6	2					1	3	4				24	4.2
運輸業																					
卸売・小売業	2 (1)				1 (1)					1 (1)										6 (3)	1.1 (2.2)
金融・保険業					3					1 (1)										13 (2)	2.3 (1.5)
不動産業																					
飲食店・宿泊業								2													
医療・福祉								2			64 (26)		4 (2)							72 (28)	12.7 (20.6)
教育・学習支援業	23 (9)	10 (3)	4 (2)	10 (2)	23 (9)	12	33 (10)	4	3	2	10 (2)	7 (5)	4	2	2	12	4 (1)		163 (45)	28.7 (33.1)	
複合サービス事業				1			5						1 (1)							7 (1)	1.2 (0.7)
サービス業	9 (3)			4 (2)	2	15 (4)	12 (2)	14 (3)	4 (3)	12 (5)	1		2		6 (1)	6	3 (1)		90 (24)	15.9 (17.6)	
公務	6 (1)	1 (1)			3	3	2	2						1	4 (1)	1	1			24 (3)	4.2 (2.2)
上記以外のもの							8 (2)									2				10 (2)	1.8 (1.5)
合計	42 (15)	11 (4)	5 (2)	20 (5)	43 (13)	57 (6)	120 (23)	40 (11)	10 (5)	92 (36)	12 (7)	27 (1)	8	32 (5)	40 (1)	8 (2)		567 (136)	100 (100)		

注：() 内数字は、内数で女子

表3 就職状況の推移（過去10年）

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
学部卒業者数	3,515	3,616	3,368	3,428	3,407	3,380	3,416	3,250	3,298	3,264
就職者数	1,462	1,410	1,197	1,176	1,111	1,103	953	948	1,069	1,120
卒業者数に対する就職者数の比率(%)	41.6	39.0	35.5	34.3	32.6	32.6	27.9	29.2	32.4	34.3
非就職者数	2,053	2,206	2,171	2,252	2,296	2,277	2,463	2,302	2,229	2,144
卒業者数に対する非就職者数の比率(%)	58.4	61.0	64.5	65.7	67.4	67.4	72.1	70.8	67.6	65.7
修士課程(専門職学位課程含む)修了者数	2,231	2,247	2,197	2,470	2,482	2,673	2,711	2,719	3,003	3,245
就職者数	1,045	1,031	1,040	1,203	1,213	1,368	1,334	1,380	1,585	1,757
修了者数に対する就職者数の比率(%)	46.8	45.9	47.3	48.7	48.9	51.2	49.2	50.8	52.8	54.1
非就職者数	1,186	1,216	1,157	1,267	1,269	1,305	1,377	1,339	1,418	1,488
修了者数に対する非就職者数の比率(%)	53.2	54.1	52.7	51.3	51.1	48.8	50.8	49.2	47.2	45.9
博士課程修了者数	935	964	894	1,223	1,388	1,371	1,532	1,458	1,547	1,619
就職者数	427	501	456	599	635	591	586	537	631	567
修了者数に対する就職者数の比率(%)	45.7	52.0	51.0	49.0	45.7	43.1	38.3	36.8	40.8	35.0
非就職者数	508	463	438	624	753	780	946	921	916	1,052
修了者数に対する非就職者数の比率(%)	54.3	48.0	49.0	51.0	54.3	56.9	61.7	63.2	59.2	65.0

表4 学部卒業者及び大学院修了者の産業別就職者数の推移（平成16年度～平成18年度）

		平成16年度	平成17年度	平成18年度
農・林・漁業	学部			
	修士・専門職学位	1	1	3 (1)
	博士			
鉱業	学部		2 (1)	5
	修士・専門職学位	2 (1)	6	7 (1)
	博士	1	1	1
建設業	学部	15 (2)	13 (1)	13 (3)
	修士・専門職学位	28 (5)	43 (5)	59 (11)
	博士	3	8 (2)	5 (1)
製造業	学部	144 (21)	139 (34)	153 (33)
	修士・専門職学位	593 (132)	661 (122)	716 (113)
	博士	83 (14)	126 (20)	151 (27)
電気・ガス・熱供給・水道業	学部	14 (2)	21 (5)	21 (4)
	修士・専門職学位	29 (2)	73 (6)	46 (6)
	博士	1	7 (1)	1
情報通信業	学部	117 (28)	147 (50)	159 (46)
	修士・専門職学位	162 (25)	189 (47)	219 (33)
	博士	16 (2)	22 (7)	24
運輸業	学部	32 (6)	33 (9)	38 (4)
	修士・専門職学位	33 (1)	31 (2)	46 (8)
	博士	2	1	
卸売・小売業	学部	41 (10)	54 (15)	66 (21)
	修士・専門職学位	34 (2)	38 (7)	40 (4)
	博士	1 (1)	3	6 (3)
金融・保険業	学部	190 (35)	233 (52)	280 (54)
	修士・専門職学位	86 (9)	150 (19)	175 (33)
	博士	1	6	13 (2)
不動産業	学部	21 (3)	15 (2)	15 (2)
	修士・専門職学位	6 (5)	6 (2)	14 (2)
	博士	2		
飲食店・宿泊業	学部	2 (1)	3 (1)	2 (1)
	修士・専門職学位			3 (1)
	博士			
医療・福祉	学部	8 (4)	4 (2)	2 (2)
	修士・専門職学位	6 (3)	8 (5)	5 (4)
	博士	84 (19)	95 (32)	72 (28)
教育・学習支援業	学部	23 (5)	15 (4)	21 (8)
	修士・専門職学位	30 (9)	42 (16)	52 (15)
	博士課程	175 (35)	168 (55)	163 (45)
複合サービス事業	学部		2 (1)	2
	修士・専門職学位	17 (2)	28 (4)	35 (4)
	博士	1	3	7 (1)
サービス業	学部	130 (31)	155 (25)	182 (57)
	修士・専門職学位	122 (32)	159 (46)	197 (67)
	博士	112 (33)	122 (37)	90 (24)
公務	学部	171 (41)	162 (30)	137 (34)
	修士・専門職学位	123 (27)	104 (26)	130 (32)
	博士	21 (2)	12 (4)	24 (3)
上記以外のもの	学部	40 (7)	71 (21)	24 (6)
	修士・専門職学位	108 (24)	46 (13)	22 (4)
	博士	34 (5)	57 (10)	10 (2)
合 計	学部	948 (196)	1,069 (253)	1,120 (275)
	修士・専門職学位	1,380 (279)	1,585 (320)	1,769 (339)
	博士	537 (111)	631 (168)	567 (136)

注：（ ）内数字は、内数で女子

表5 産業別就職者数（平成11年度～平成15年度）推移

	学部・大学院別	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
農・林・漁・水産業	学 部				4	1
	大学院(修士課程)	1				2
	大学院(博士課程)	1		1		1
鉱業	学 部	2		1	3	3
	大学院(修士課程)	6	2	1	1	4
	大学院(博士課程)				1	
建設業	学 部	16	16	11	11	10
	大学院(修士課程)	38	60	39	49	80
	大学院(博士課程)	3	8	6	8	5
製造業	学 部	265	248	266	212	147
	大学院(修士課程)	523	606	580	599	617
	大学院(博士課程)	73	87	87	85	108
卸売・小売業	学 部	42	33	44	37	31
	大学院(修士課程)	10	20	23	21	26
	大学院(博士課程)			2		2
金融・保険・不動産業	学 部	266	266	228	194	162
	大学院(修士課程)	71	70	72	86	70
	大学院(博士課程)	3	6	5	2	7
運輸・電気・ガス・水道業	学 部	145	131	85	167	57
	大学院(修士課程)	127	102	125	225	67
	大学院(博士課程)	11	9	6	9	3
情報通信業	学 部					129
	大学院(修士課程)					160
	大学院(博士課程)					14
サービス業	学 部	165	201	169	189	123
	大学院(修士課程)	95	151	115	173	132
	大学院(博士課程)	53	70	13	58	92
教育・学習支援業	学 部	17	17	9	12	13
	大学院(修士課程)	16	10	20	21	19
	大学院(博士課程)	121	180	165	199	195
公務	学 部	192	177	172	194	184
	大学院(修士課程)	84	109	87	118	94
	大学院(博士課程)	122	150	54	120	19
公共企業体	学 部	9	14	7	4	3
	大学院(修士課程)	12	6	25	1	
	大学院(博士課程)	35	12	66	30	
その他	学 部	78	73	199	76	90
	大学院(修士課程)	57	67	85	74	63
	大学院(博士課程)	34	77	211	79	140
合計	学 部	1,197	1,176	1,191	1,103	953
	大学院(修士課程)	1,040	1,203	1,172	1,368	1,334
	大学院(博士課程)	456	599	616	591	586

Step by Step

第1回 ご挨拶 ～連載にあたって～



東京大学基金がスタートしてから約3年が経とうとしています。たくさんの方々からの温かいご支援・ご寄附をいただきながら、東京大学基金は130億円集めるという一つの大きな目標に向かって日々前進しているところです。

そんな東京大学基金のことをもっと皆さんに知って欲しい。そんな思いから、今後数回にわたり学内広報での連載をさせていただくことにしました。

基金と私

高橋 宏志
渉外本部長 理事 (副学長)

東京大学基金のことを数年前に初めて聞いたとき、多くの人と同様、私も東大100年記念募金のことを思い出しました。30年前に助教授であった私は、給与から一定額を天引きされる形で寄附いたしました。私のものは文字通り貧者の一灯でしたが、100年記念募金で御殿下のあたりは大いに整備されたわけでありませぬ。けれども、100年記念募金は、ご関係の方々が多額の努力をされましたが、結果として目標額に達することができず、全体としては成功とはいえなかったというのが定説でしょう。

けれども、今回の東京大学基金は、なにやら雰囲気が前回の100年記念募金とは違っておりました。何かを建てるという華々しい計画は喧伝されませんでした。そのうち、私にも、東京大学基金は運用益を生み出すという本来の意味での「基金」を積み立てることに主眼がある、イベント的に建物を建てるということが理念としては主眼ではない、ということが分かって参りました。そうなのです、国が面倒を見てくれた国立大学時代の100年記念募金と、国立大学法人となった今の東京大学基金は、意味合いが違うのです。そして、それは、ローマは一日にして成らず、兆を超す金額の基金を目指す息の長い事業なのです(ハーバードは3兆円と言われます)。

鈍感な私にも、ようやく分かって参りました。東京大学100年の計に参加できることを、教職員卒業生その他関係者一同、誇りに思おうではありませんか。



高橋本部長(中央)と鈴木(左)・堀越(右)

本連載は渉外本部の2年目職員である鈴木と堀越が担当させていただきます。

基金のことをできるだけわかりやすく皆様にお伝えできるようにがんばってゆきますので、ご意見・ご質問等あればいつでもご連絡ください。

よろしくお願いたします。

基金最新情報

3,764件 8,940,494,100円

(内教職員 703件)

(5月31日現在申込)

教職員参加率 9.6%

連絡先: 渉外本部 鈴木、堀越
電話: 内線21247(外線03-5841-1247)
HP: <http://utf.u-tokyo.ac.jp/index.html>

※「東京大学トップページ」上で「東京大学基金」をクリック

調達本部です



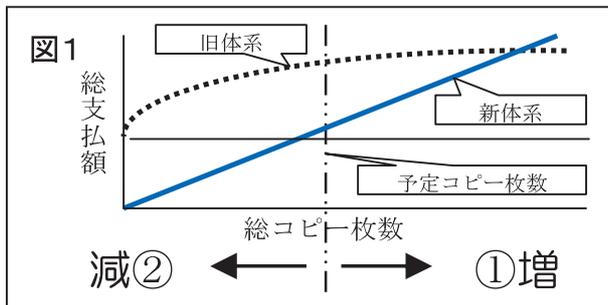
第29回 コピー機の契約はどう変わったの?

調達本部が手がけたコピー機の調達改善について、「安くなっただけで、なにがどう変わったの?」との質問をよく受けます。今回は、これにお答えします。

今回のコピー機調達における基本コンセプトは、「コスト削減」と「業務の効率化」でした。サプライヤの選定は、この両面を総合的に評価する方法にて行いました。

この結果、「コスト削減」として、コピー1枚当たりの契約単価が60%程度下がり、まずは大成功でした。

価格に関してはこのほかにも、「1枚当たり」を明確化することがメリットであると捉え、価格体系を従来の『機器賃借料(固定額)+保守料(枚数比例:増加に伴う減額あり)』から『フルオールインワンチャージ方式(1枚当たりの料金に保守料等全てのコストを含む方式)』としました。この方式を採用した理由は、料金計算を「1枚〇円」×「枚数」と簡素にし、教職員へのコスト意識の徹底や、予算管理や経理処理の計算の簡便化に役立てたいと考えたからです。図1は、新旧の料金体系におけるコピー枚数と支払額の相関を示したものです。



本学における今年の予定コピー枚数は約8000万枚です。ペーパーレス化と言われてますが、コピー枚数は年々増加する傾向にあります。コピー枚数が増える(図1の①へシフト)と、1枚当たりの単価が大きく下がっても、相対的にはコスト削減効果は目減りします。

そこで、調達時の第二コンセプトであった「業務の効率化」の登場となります。この「業務の効率化」が目指すところは、情報媒体を「紙」から「電子」へ変換し、業務効率の向上を図ると共にコピー枚数を減らしていく(図1の②へシフト)ことです。これに関しても調達時にサプライヤから様々な提言がありました。

調達本部では「業務の効率化」を進めるため、業務改善グループと連携し「業務改善タスクフォース」を立ち上げ、6月より活動を開始しました。このタスクフォースでは、サプライヤからの専門的提言も参考に、数年かけ、改善を進めていきます。究極は、電子情報の上手な活用ですが、その前段階でも、コピー枚数削減のためのちょっとした工夫(「2アップ/4アップ印刷」といったレベルから)を、皆さんへ提供していきます。

調達本部連絡先 ☎21201 櫻井

大学発ベンチャー支援施設 「東京大学アントレプレナープラザ」開業！

東京大学関連ベンチャーの一大集積拠点 完成

大学発ベンチャー支援施設「東京大学アントレプレナープラザ」が、6月から運営を開始しましたので御報告します。

東京大学関連ベンチャー企業の一大集積拠点の構築は、本学の長年の念願だったのですが、昨年6月に建設着工し、本年5月に予定通り竣工したものです。

今秋（9月26日）には、本学130周年記念事業の一環として、東京大学アントレプレナープラザ開業記念イベントを行う予定です。

【本施設の建設スキーム】

本施設の建設は学術貢献目的の篤志家のご支援により実現しました。東京大学と篤志家（根本信男氏、株式会社アデランス創業者）との間で締結された契約に基づき、篤志家は産学連携プラザ隣接の土地を定期借地し、本施設を建設の上、産学連携本部が中心となって選定・支援する東京大学関連ベンチャー企業に建物を賃貸します。篤志家は定期借地の終了する30年後、本施設を本学に無償譲渡します。この様に、篤志家のご支援により、東京大学は本施設の建設並びに運営・管理に係わる財政的な支出・リスクを原則として負担しない形です。

【施設概要】

本施設は、産学連携本部がある産学連携プラザの隣接地に所在する地上7階建て、延床面積約3,642㎡の施設です。各室約58㎡、各階5室、合計30室（2～7階）を有し、バイオサイエンス系を含む実験室（ウェット・ラボ）としての利用が可能です。

【施設における支援対象企業】

本施設における支援対象とする東京大学関連ベンチャー企業は、以下のいずれかの条件を満たしていることが必要です。

（1）本学の役員、教職員又は学生等が行った研究・教育成果の実用化、社会還元のために設立された法人であって、設立後10年以内の未上場法人

（2）本学の役員又は教職員が役員兼業する設立後10年以内の未上場法人

（3）本学の役員、教職員又は学生等が出資等によって設立に深く関与した法人であって、設立後10年以内の未上場法人

（4）株式会社東京大学エッジキャピタルが出資する設立後10年以内の未上場法人

（5）その他本学と密接な関係を有する、設立後又は新規事業立ち上げ後10年以内の未上場法人

※東京大学アントレプレナープラザに係るお問い合わせは下記連絡先まで。

（連絡先）

産学連携本部 事業化推進部 特任准教授 白石敬仁

産学連携課 総務チーム TEL：03-5841-1489

メール：eplaza@ducr.u-tokyo.ac.jp

第1回 UCRソフトウェア実用化提案会 報告

産業界によるソフトウェア活用の促進や 共同研究創出を目指します！

東京大学産学連携協議会では、産学連携によって研究成果・技術シーズを実用化し社会への還元を目指す意向のある学内の教員・研究者に対して、共同研究のパートナーとなる民間企業等の探索・発掘のお手伝いをする「UCRシーズ実用化提案会」を随時実施しています。

今春、シーズの中でも特にソフトウェアにフォーカスした「UCRソフトウェア実用化提案会」を新たに開催することになり、教員・研究者から研究成果であるソフトウェアについての発表を行って、民間企業等によるソフトウェア活用の促進や、ソフトウェア開発を目的とした共同研究の創出を目指しています。

第1回目の提案会は5月22日（火）に開催しました。テーマ、発表者は以下の通りで、独創性あふれる様々なソフトウェアの紹介が行われました。集まった産業界の方々には、興味深いソフトウェアの内容を熱心に聞き取っておられました。

◇発表者：五十嵐 健夫准教授（情報理工学系研究科）

★テーマ：「最新ユーザインタフェースおよびコンピュータグラフィクス技術とその応用」

Projects

1) Pen-based Computing

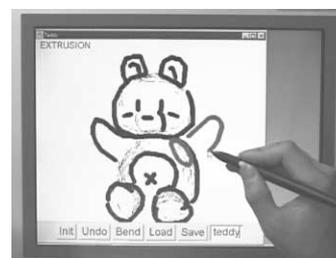


2) 3D Graphics for Novices



3) Misc. User Interface Topics

Sketching is easy!



連絡先：産学連携本部（研究協力部 産学連携課）

電話：内線22857（外線03-5841-2857）

ホームページ：<http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>

※「東京大学トップページ」上で「産学連携本部」をクリック

ワタシのオシゴト

第15回

Rings around the UT

教育学研究科・教育学部 学生支援チーム

杉山 牧子さん

インタープリターズ・ バイブル

vol. 5



科学技術振興調整費新興分野人材育成 科学技術インタープリター養成プログラム

わかりやすさとは何か

藤垣 裕子

科学技術インタープリター養成プログラム担当
総合文化研究科准教授

科学技術をわかりやすく伝えることは、インタープリタープログラムにとって大事な課題の1つである。では、わかりやすさとは何だろうか。「わかる」という日本語には多義性がある。英語のrecognized as truth, share the knowledge as truth, verified, justified, understandなどの意味すべてに日本語の「わかる」という言葉が充てられているためである。わかりやすさとは納得しやすい、understandableの意味になる。ではどのような表現を用いるとわかりやすいのだろうか。

議論をすすめるために、専門用語を日常用語でわかりやすく書き換えるプロセスをX、逆に、日常用語を専門用語で言い換えるプロセスをYとおいてみよう。プロセスXにおいて、ある種の情報は確実に減る。たとえば専門家のコミュニケーションにとって必要不可欠な物質名が、わかりにくいという理由で、物質Aと記述される、あるいは専門家の中ではほぼ自明なある概念が、わかりにくいという理由で別の用語に置き換えられる、などである。これは専門用語のネットワークによって保たれていた「概念の精度」が落ちることを意味する。同時に、比喩を用いることによって、日常の文脈が追加されることになる。たとえば高血圧を説明するために、血管をゴムホースに喩えるなどがこれに入る。

翻って、専門家集団内での概念の精緻化プロセスを考えてみよう。プロセスYである。概念の精緻化プロセスにおいては、一意に意味が定まるように、日常用語における多義性が排除される。さらに、日常生活の文脈において存在する社会的な過程の排除が生じる。一義に定まる専門用語空間に閉じることによる概念の精緻化である。

よく「専門家は正確に説明しようとするためにかえってわかりにくい」といわれるが、これは、正確な説明のために多義性を排除し、精緻な表現をめざすためである。つまり、わかりやすいということは、正確さを犠牲にするということである。正しく伝えようとするのとわかりやすく伝えることの間には常に矛盾が存在する。

インタープリタープログラムでは、専門誌Public Understanding of Science (科学の公衆理解)に掲載される論文をもとに、そもそも科学リテラシーとは何か、理解とは何か、わかりやすさとは何か、といった定義を吟味しながら、科学の世界と一般のひとの世界をつなぐことの意味を考えている。

★科学技術インタープリター養成プログラム

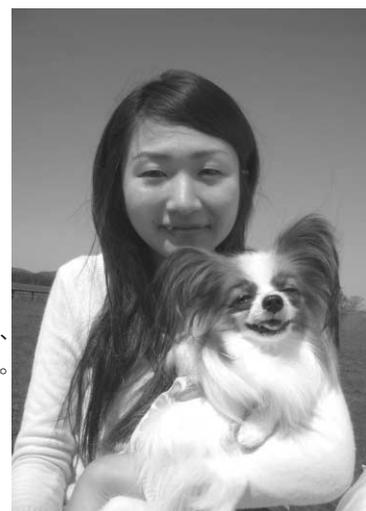
URL: <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/STITP/>

責任重大…

東大職員に採用されてから4年。研究協力部で外部資金関係を担当し、現在は教育学部で窓口対応をする部署にいます。

その中でも、教務担当や大学院担当ではなく、教育学部にしかない特殊な「教職課程等担当」で教育実習や介護等体験、教職免許に関する仕事、厚生の仕事を担当しています。研究協力部にいた時とまったく仕事内容が違うので、最初はかなり戸惑いましたが、ようやく慣れてきたところです。慣れてきて一番実感しているのが責任の重大さです。教員になるう

としての方に対し、少しでも手違いがあつて教育実習等ができなかったり、教職関係の単位が1単位でも足りなかったらその方の人生を狂わせてしまうからです。特に教免の単位修得関係では、学生1人1人の状況を細かく把握してから答えるよう心がけています。



愛犬と牧場に行ったときの写真。太陽がまぶしくて犬の顔がおもしろいです



教育学部名物のポストの前で

出身地: 千葉県

自分の性格:

おつちよこちよい

血液型: AB型

次回執筆者のご指名:

奥山明さん

次回執筆者との関係:

頼りになる先輩

(実は採用される前からの友達です)

一言紹介:

温和でいつも笑顔の心優しい男子です

■五月祭大盛況で終了しました！！

5月26日、27日の2日間、五月祭が開催されました。晴天に恵まれ、コミュニケーションセンターにも両日共に1,000人を超すお客様にお越し頂きました！！足をお運び頂いた皆様、ありがとうございました。

＜売上げ個数ベスト5＞

1位	蓮香（オードパルファム）
2位	御酒（特製ボトル）
3位	御酒（ミニボトル）
4位	シャープペン
5位	チャーム付ストラップ

新商品の「蓮香」オードパルファムが一番人気となりました！！
まだお試しいない皆様！是非一度コミュニケーションセンターで香りをお試し下さい！！

■UTCCスタッフ紹介 ～Part 7～

UTCCスタッフ紹介！7人目です。学生スタッフ一同、お客様の笑顔を励みに頑張っております。店頭にお立ち寄りの祭は是非お声をお掛け下さいませ！



農学部
開発政策経済学専修 4年
今井 裕明

こんにちは、UTCC勤務3年目の今井です。この仕事は、いろいろな方と接することができとても楽しいです。UTCCは東大の先生方の研究成果を商品化した素敵なグッズを取り揃えています。さらに、少しでも美しく包装をしてお客様により満足していただけるよう、日々心がけています。いつでもプレゼント包装承りますので、お申し付け下さい！！

（担当：コミュニケーションセンター 吉岡）



東京大学コミュニケーションセンター
The University of Tokyo
Communication Center

The University of Tokyo

OPEN：月曜～土曜 10：30～18：30
電話：03-5841-1039
<http://www.utcc.pr.u-tokyo.ac.jp>



教育学部附属中等教育学校で遠足が実施される

風薫る5月、ゴールデンウィーク合間の2日に、附属学校の恒例行事である「遠足」が行われた。前日からの雨が心配であったが、当日は晴れ間も見えよい遠足日和となった。1年生から4年生まで、学年ごとにそれぞれ異なった場所に出かけた。

1年生は金沢文庫から鎌倉までを歩いた。入学して初めての校外行事に胸を弾ませつつ、友達の意外な一面に気づきながら、元気に歩いた。

2年生は埼玉県「青少年野外活動センター」で、オリエンテーリングと飯盒炊さんを行った。薪に火を点けることからはじめ、豚汁を大釜で作るために、慣れない手つきで大根や人参を切って取り組んでいた。この遠足は、夏に行われる85kmチャレンジウォークに向けての、練習も兼ねており、チームワークやリーダーシップなど、他人のことを考えて自分の行動を決断するという精神的成長を期待している。

3年生は日の出山と御岳山に登山に出かけた。朝、二俣尾に集合し日の出山でお昼ご飯。その後尾根沿いに御岳山を踏破し夕方古里で解散した。新緑のまぶしい季節で、空気もよく、山登りには絶好であった。しかし、木の根っこが出ている道など歩きにくいところもあり、体力的にハードな登山であった。それでも生徒たちは、2年生の80kmチャレンジウォークを経験しており、音を上げることなく全員が完全走破した。

4年生は鎌倉に行き、鎌倉と江ノ島それぞれから交差するように鎌倉を横断し、途中で「出会いと別れ」を経験しながら、班毎のコースを楽しんだ。

各学年それぞれのコースを楽しみながら、教室から離れた場所での有意義なひと時を過ごしていた。



飯盒炊さんの準備をする生徒たち

（教育学部附属中等教育学校）

INFORMATION

シンポジウム・講演会

シンポジウム・講演会

海洋アライアンス

「第2回東京大学の海研究—海から未来を考える—」のご案内

持続可能な海の利用・保全を実現するためには、様々な観点から海を調べ、海をよく知る必要があります。現在、本学の研究者間の分野を越えたコミュニケーションを確保し、海の研究・教育ネットワークを形成するために、多くの研究科、研究所、センターから代表推進者が集まり、「海洋アライアンス」として活動を行っております。昨年7月に開催された海洋アライアンス主催の「第1回東京大学の海研究—海からの恩恵と災害—」では、本学におけるバラエティに富んだ海の研究が紹介され、400名を超える方々が参加されました。

昨年に引き続き、7月4日（水）に鉄門記念講堂にて「第2回東京大学の海研究—海から未来を考える—」を開催いたします。ここに本シンポジウムへの参加をご案内いたします。ぜひご来場ください。

また、理科系、文科系を問わず学内で海に関心のある教職員の皆様の入会を歓迎いたしますので、下記事務局までお気軽にご連絡ください。

シンポジウム

「第2回東京大学の海研究—海から未来を考える—」

日時：7月4日（水）

場所：鉄門記念講堂

プログラム

9:30～10:00

開会の挨拶：東京大学総長 小宮山 宏
（司会：海洋研究所所長 西田 睦）

10:00～11:40 セッション1

海産無脊椎動物の精子運動と受精

（臨海実験所 吉田 学）

地球温暖化に対するサンゴ礁の応答

（理学系研究科 地球惑星科学専攻 茅根 創）

海洋生物生産と微量金属

（農学生命科学研究科 水圏生物科学専攻 武田重信）

沿岸生態系モデル

（生産技術研究所 機械・生体系部門 北澤大輔）

生物進化と脊椎動物の起源

（海洋研究所 先端海洋システム研究センター

窪川かおる）

13:00～14:20 セッション2

海洋基本法と海洋の統合管理

（公共政策大学院 奥脇 直也）

インド洋の気候変動と海洋観測網構築

（理学系研究科 地球惑星科学専攻 升本 順夫）

沿岸域の物質循環と水環境再生

（新領域創成科学研究科 環境学研究系 鯉淵 幸雄）

海と大気間の物質循環

（海洋研究所 海洋科学国際共同研究センター

植松 光夫）

14:40～15:40 セッション3

巨大波の神話と科学

（工学系研究科 環境海洋工学専攻 早稲田 卓爾）

海域地球物理観測と巨大地震

（地震研究所 地震地殻変動観測センター 篠原雅尚）

天竜川流砂系の土砂移動実態の解明

（工学系研究科 社会基盤学専攻 田島芳満）

16:00～17:20 セッション4

発展途上国における海産食品の安全確保

（アジア生物資源環境研究センター 福代康夫）

資源としての海洋メタンハイドレード

（工学系研究科 地球システム工学専攻 増田昌敬）

海洋生物資源の有効利用

（農学生命科学研究科 水圏生物科学専攻 落合芳博）

CO2大量隔離（新領域創成科学研究科 環境学研究系

染矢 聡）

17:20～17:30

閉会の挨拶：

生産技術研究所 海中工学研究センター 浦 環

18:00～20:00 懇親会：東京大学山上会館

参加費：無料（懇親会は会費3,000円）

参加申込方法：

下記ホームページから申し込み頂けます（先着400名）。

URL: <http://www.oa.u-tokyo.ac.jp>

主催：海洋アライアンス

代表推進者所属組織：理学系研究科、工学系研究科、農学生命科学研究科、新領域創成科学研究科、公共政策大学院、地震研究所、東洋文化研究所、生産技術研究所、史料編纂所、海洋研究所、アジア生物資源環境研究センター、気候システム研究センター

事務局：

大学院工学系研究科環境海洋工学専攻 村山英晶

E-mail：murayama@giso.t.u-tokyo.ac.jp

Tel/Fax: 03-5841-6514

シンポジウム・講演会

生産技術研究所

文部科学省次世代IT基盤構築のための研究開発
第2回「革新的シミュレーションソフトウェアの研究開発」シンポジウムのご案内

<<開催要項>>

日時：7月12日（木）10:00～18:30

7月13日（金）10:00～17:30

会場：生産技術研究所コンベンションホール
東京都目黒区駒場 4-6-1

（※詳しくは<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/map/>をご参照）

主催：東京大学生産技術研究所

後援：（独）海洋研究開発機構地球シミュレータセンター、自然科学研究機構分子科学研究所、日本学術会議、（社）日本経済団体連合会、（独）理化学研究所、東京大学国際・産学共同研究センター、スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

参加費：無料

懇親会（12日17:30～18:30） 希望者のみ2000円

定員：300名

参加申込及びお問合せ先：プロジェクト事務局

TEL :03-5452-6661 FAX:03-5452-6662

E-mail : registration@rss21.iis.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://www.rss21.iis.u-tokyo.ac.jp/>

<<プログラム 7月12日（木）>>

※プログラムの詳細は変更の可能性があります。

10:00～10:05 挨拶

前田 正史 生産技術研究所 所長

10:00～10:10 文部科学省 挨拶

10:10～10:15 プログラムオフィサー挨拶

小林敏雄 財団法人日本自動車研究所
副理事長・研究所長

10:15～10:20 スーパーコンピューティング技術産業
応用協議会 挨拶

【基調講演】

10:20～11:10 立花 隆 評論家

【講演】

11:10～11:50 加藤 千幸 生産技術研究所 教授

11:50～12:20 小池 秀耀

アドバンスソフト株式会社 代表取締役社長

12:20～13:30 昼食休憩（デモ、パネル展示）

【招待講演】

13:30～14:10 笠 俊司

石川島播磨重工業株式会社 解析技術部 部長

14:10～14:50 関沢 愛 総務省消防庁消防大学校

消防研究センター 火災災害調査部長

14:50～15:30 中馬 寛 徳島大学大学院

ヘルスバイオサイエンス研究部 教授

15:30～15:45 休憩（デモ、パネル展示）

【パネルディスカッション】

15:45～17:30 司会：小林 敏雄

財団法人日本自動車研究所副理事長・研究所長

パネリスト：

笠 俊司 石川島播磨重工業株式会社
解析技術部 部長

加藤 信介 生産技術研究所 教授

田口 康 理化学研究所

スーパーコンピュータ開発実施本部

プロジェクトディレクター

中馬 寛 徳島大学大学院

ヘルスバイオサイエンス研究部 教授

17:30～18:30 懇親会（ホワイエ）

<<プログラム 7月13日（金）>>

※プログラムの詳細は変更の可能性があります。

10:00～10:05 挨拶

加藤 千幸 生産技術研究所 教授

10:05～12:05 <生命現象シミュレーション>

10:05～11:05 第1部：生命現象シミュレーション
グループ報告

佐藤 文俊 生産技術研究所 准教授

中野 達也 国立医薬品食品衛生研究所 主任研究官

大島 まり 生産技術研究所 教授

11:05-12:05 第2部：生命現象シミュレーション
利用者適用例

稲葉 亨 株式会社日立製作所機械研究所 研究員

小沢 知永 キッセイ薬品工業株式会社

創薬研究部 副主任研究員

12:05～13:00 昼食休憩（デモ、パネル展示）

13:00～14:00 <ナノ・シミュレーション>

大野 隆央 独立行政法人物質・材料研究機構

計算科学センター センター長

小林 金也 株式会社日立製作所

日立研究所 主管研究員

14:00～15:00 <都市の安全・環境シミュレーション>

黄 弘 生産技術研究所 助教

森川 泰成 大成建設株式会社

技術センター 建築技術開発部 部長

15:00～15:15 休憩 (デモ、パネル展示)

15:15～17:30 <統合連成シミュレーション>

吉村 忍 大学院工学系研究科 教授

加藤 千幸 生産技術研究所 教授

奥田 洋司 人工物工学研究センター 教授

金山 寛 九州大学大学院工学研究院 教授

小池 秀耀 生産技術研究所 顧問研究員

アドバンスソフト株式会社 代表取締役社長

17:30 閉会

シンポジウム・講演会

空間情報科学研究センター

空間情報シンポジウム

空間情報科学研究センターでは、下記のシンポジウムを開催いたします。ご関心のあるかたは、ぜひご参加下さい(入場無料、事前登録不要)。

「空間情報社会の到来：社会動向と空間統計学の普及」

日時：7月18日(水) 13:20～16:40

場所：山上会館大会議室

発表者・所属・表題

柴崎亮介(空間情報科学研究センター)

地理空間情報基本法が拓く空間情報社会とこれからの研究開発

今井 修(空間情報科学研究センター)

参加型GIS：社会的ニーズとそのモデル化

丸山祐造(空間情報科学研究センター)

Rで空間統計解析

佐藤英人(空間情報科学研究センター)

小地域単位統計の整備と利用に向けた課題

清水千弘(麗澤大)

住宅価格指数にみる首都圏の住宅市場：

空間構造の変化と市場の変化

上野典行((株)リクルート)

フリーペーパー戦略における設置ポイント×前住所エリア×購入住所エリアの科学

お問い合わせ：空間情報科学研究センター 小口

E-mail：oguchi@csis.u-tokyo.ac.jp

TEL：04-7136-4301

募集

募集

AGS推進室

平成19年度 東京大学AGS研究会 研究課題の募集

東京大学、マサチューセッツ工科大学(MIT)、スイス連邦工科大学、チャルマーズ工科大学によるAGS(Alliance for Global Sustainability：人間地球圏の存続を求める大学間国際学術協力)はスタートから11年を経過し、昨年2006年より第3期活動に入りました。第3期においては各大学が地域の活動により一層力を入れるという方針のもと、東京大学AGS研究会ではこれまで以上にアジアでの活動を推進し、取り分け中国、韓国、東南アジア諸国、インドでの取り組みを強化し、これらの国を代表する大学・研究機関との連携(Alliance for Sustainable Asia/ASA)を推進しています。

このたび東京大学AGS研究会では、平成19年度の研究課題を募集いたします。昨年度と同様に、アジアを視点に置きながら、Full Projectについては、AGSの重点分野である水、食糧、エネルギー、Mobility、リスクマネジメントなどに関する研究課題の他に、新しい展開として持続可能性を支える文化の多様性や持続可能な社会とGenderの役割などの新しい研究課題についても研究基金を配分いたします。また、将来重要性が期待されるSeed的な研究課題 Seed Projectについても研究基金を用意いたします。特に今まで応募されていない新しい方の応募、新しいアイデアに基づいた研究課題の提案をお待ちしています。

1. 研究課題応募に際しての留意点

- ①Sustainabilityに関する研究プロジェクトとして採択されることを目指す研究であること。
- ②Full Projectは学際性、国際性、社会連携(注1)のいずれか一つ以上を満たすものであること。
- ③研究課題用の応募用紙を用いる(項目2を参照)。
- ④一件当たりFull Projectは年間200万円以内、Seed Projectは50万円の研究助成基金を配分する予定。
- ⑤研究代表者は本学教員であることが必須ですが、共同研究者として研究員、大学院生が参画できます。助成基金の配賦は秋以降となり、実質上研究期間が平成20年度にかかりますので、来年3月に退職される教員の方は研究代表者となられることをご遠慮ください。
- ⑥海外で実施されるAGS年次総会、Technical MeetingやAGSが関与する会議で重要と認められた会議に参加する場合の旅費は別途予算として計上準備する予定ですので、本年度の研究課題申請の際には上記

会議への参加費用の計上は必要ありません。

(注1) 社会連携：技術や制度の社会における実践・普及を念頭に置き、研究プロジェクトにおいて社会の様々な関係者と連携すること。

2. 応募ご希望の方は応募用紙をお送りいたしますので下記まで連絡をください。

3. 応募用紙にご記入の上、7月6日（金）までにe-mailでご提出をお願いいたします。

提出期限までに十分な期間がなく申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。

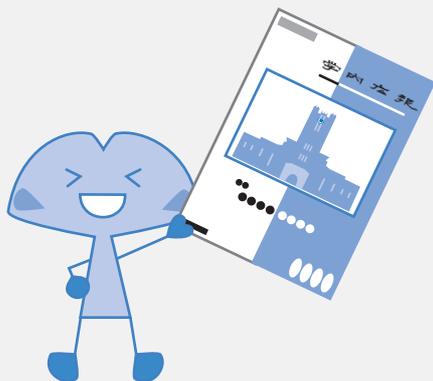
応募用紙依頼、課題申請書の提出、問合せ先

戸上 雄司

東京大学A G S推進室

内線：21548

E-mail：togami@ir3s.u-tokyo.ac.jp



募集

大学院医学系研究科・医学部

生命・医療倫理人材養成ユニット

夏期集中生命・医療倫理学入門コース申込み受付開始

本学医学系研究科に文部科学省の科学技術振興調整費によって設立されている生命・医療倫理人材養成ユニットでは、生命・医療倫理に関心のある社会人や学生の方を対象に、短期間のうちに生命・医療倫理の基礎および倫理委員会の概要を学んでもらうことを目的として、夏期集中生命・医療倫理学入門コースを8月2日（木）から5日（日）の日程で開催します。

コースは、主として講義および演習から構成されています。講義では、倫理学や法の基礎理論、そして生命・医療倫理の領域においてとくに重要だと考えられるいくつかの理論を紹介し、演習では、講義で学んだ知識を単なる座学に終わらせないために、受講生参加型の模擬倫理委員会や模擬倫理コンサルテーションを行います。さらに、加藤尚武特任教授による特別講演会や、受講生同士の交流を目的とした懇親会も行われることになっています。なお、本コース修了者には修了証を発行します。

参加を希望される方は、生命・医療倫理人材養成ユニットのホームページ (<http://square.umin.ac.jp/CBEL/>) から申込書をダウンロードしていただき、必要事項を記載の上、ユニット事務局までお送りください。プログラムなど詳細な情報につきましては、上記ホームページをご覧ください。ファックス（03-5841-1107）でご連絡ください。



昨年のコース受講者とシンポジウム演者

お知らせ

お知らせ

大学院工学系研究科・工学部

イアエステ国際インターンシップ派遣説明会 開催のお知らせ

東京大学イアエステ委員会は、下記により国際インターンシップの派遣説明会を開催します。イアエステ (IAESTE) は、工・理・農・薬学系学生を中心に国際インターンシップを推進している組織です。世界約80カ国に国内委員会を持ち、1948年に発足して以来、ヨーロッパを中心に活動を続けています。ユネスコ等を諮問団体として、世界で4,000社に及ぶ企業・大学の後援のもと、これまでに延べ30万人近い学生を交換してきました。イアエステ理事校のひとつである本学は、東京大学イアエステ委員会が学内委員会として対応し、活発な派遣および受け入れの国際交流を推進しています。

現在、イアエステは2008年度イアエステ国際インターンシップ派遣生を募集しています。理系で国際インターンシップに興味がある方は、是非お気軽に足をお運びください。

日時：6月24日(日)13:00～16:00

場所：工学部2号館4階245講義室

内容：①IAESTEインターンシッププログラムの説明
②派遣生OB、OGによる研修報告

※②の後には派遣生OB、OGに直接質問が出来る時間も設けています。



派遣生OB、OGによる研修報告（昨年度）

お知らせ

学生部

初心者水泳講習会の開催について

「今年こそは泳げるようになりたい！」

「でも、スクールに通う時間はないし、お金もかかるし…」

そんなあなたに、初心者水泳講習会！

場所は、本郷構内の御殿下記念館でアクセス至便。しかも費用はわずか500円！こんなチャンスはそうそうありません。

本学水泳同好会（日本水泳連盟公認指導員）が、優しく丁寧に指導いたします。また、初心者の方だけが対象ですので、「全然泳げないから恥ずかしい…」という方も遠慮せずのびのび参加していただけます。

6日間の短期集中クラスですので、今年の夏休みにも間に合いますよ！皆様奮ってご参加下さい。

- 日時：**7月4日（水）、5日（木）、6日（金）
11日（水）、12日（木）、13日（金）
計6日間 各日とも18:00～19:30（1時間30分）
- 場所：**御殿下記念館プール
- 対象：**本学学生・教職員
〔初心者（全く泳げない）、
初級者（息継ぎができない）に限ります〕
- 定員：**20名（定員になり次第締め切ります）
- 受講料：**500円（6回分）
- 受付：**6月1日（金）9:30～
御殿下記念館モール階 運動会受付
- 説明会：**6月29日（金）18:00～18:20
御殿下記念館第一研修室
（記念館入口の右隣）
- 講師：**東京大学水泳同好会
（日本水泳連盟公認指導員）
- その他：**問い合わせは、学生部学生課体育チーム
（内線：22509～22511）まで

= 特集テーマ&執筆部署募集告知 = 特集の記事を執筆してみませんか？

学内広報では巻頭特集の記事テーマとその執筆部署を募集しています。学内への周知を図るためのツールとして特集はとても効果的です。皆さんの部署でも、ぜひ特集の記事を執筆してみませんか？

1. 制作方法

① テーマの選定

全学の教職員を読者対象とするテーマを選定することになっています。
まずは一度、総務部広報課に気軽にご相談ください。特集に馴染まないテーマでない限り、対応します。
(締切日の2週間前位までに1度ご相談ください)

② 内容・構成の決定

執筆部署と学内広報編集スタッフ（以下、編集スタッフ）が打ち合わせをしてページの内容を決めていきます。
見開き2ページを1単位とします。内容が盛りだくさんの場合は4ページ、または6ページで構成することもあります。

③ 原稿の執筆

決定した構成に合わせて執筆部署に原稿を書いていただきます。
字数等は編集スタッフが提示します。原稿はwordファイルでご制作下さい。

④ ビジュアル要素の提供

特集に盛り込む写真・図・イラストを執筆部署から提供していただきます。
手持ちの写真がない場合は編集スタッフが撮影にうかがいます。

⑤ デザイン

お書きいただいた原稿、ご提供いただいた写真・図等を素材にして、編集スタッフがページデザインを作ります。
もちろん、執筆部署でデザインを作っていたいただいてもかまいません。

⑥ 校正

デザインしたページイメージをお送りしますので、主に文字校正を行なっていただきます。

⑦ 完成

刷り上がった学内広報は、執筆部署に多めに配布します。

2. 締切日

こちらから期日を申しますので、ご協力をお願いします。
通常の学内広報の切日（第1・第3水曜日）の2日前を原稿締切日とします。

3. 問い合わせ先・原稿提出先

総務部広報課 広報企画チーム TEL：03-3811-3393 内線22031 E-mail：kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp



人事異動（教員）

発令日、部局、職、氏名(五十音)順

発令年月日	氏名	異動内容	旧（現）職等
（退 職）			
19.5.31	今村 知明	辞 職	医学部准教授
19.5.31	綱島 浩一	辞 職	大学院医学系研究科准教授
（採 用）			
19.5.16	小川 治夫	分子細胞生物学研究所准教授	
19.6.1	遠藤 薫	先端科学技術研究センター教授 (出向)	都市再生機構東京都心支社都市再生企画部チー ムリーダー
19.6.1	深井 周也	放射光連携研究機構准教授	東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター 准教授
19.6.1	植木浩二郎	大学院医学系研究科准教授	大学院医学系研究科研究拠点形成特任教員
（昇 任）			
19.5.16	青山 和浩	大学院工学系研究科教授	大学院工学系研究科准教授
19.5.16	津江 光洋	大学院工学系研究科教授	大学院工学系研究科准教授
19.6.1	野入 英世	医学部准教授	医学部講師
19.6.1	金子 豊二	大学院農学生命科学研究科教授	大学院農学生命科学研究科准教授
19.6.1	松本 武祝	大学院農学生命科学研究科教授	大学院農学生命科学研究科准教授
（配 置 換）			
19.5.16	岡部 洋二	生産技術研究所准教授	大学院工学系研究科准教授

※退職後又は採用前の職等については、国の機関及び従前国の機関であった法人等のみ掲載した。

東京大学における教員の任期に関する規則に基づく専攻、講座、研究部門等の発令については、記載を省略した。

EVENT LIST

行事名	日時	場所	連絡先・HP等
第31回公共政策セミナー・国際シンポジウム 「国家安全保障会議（NSC）と日本の戦略」	6月19日（火） 14:00～17:00 （開場13:30）	弥生講堂一条ホール	公共政策大学院 （事前申込は、graspp@pp.u-tokyo.ac.jpまたは第2本部長 616号室まで） URL: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/
CPAS Seminar: Viet Thanh Nguyen Intersections, Social Change, and Engaged Theories: Implications of American Feminism	6月19日（火） 18:00～	駒場キャンパス14号館2階 アメリカ太平洋地域研究センタ ー会議室	東京大学アメリカ太平洋地域研究センター E-mail: seminar@cpas.c.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.cpas.c.u-tokyo.ac.jp/indexjpn.html
第11回 Disease Biology Excellent Lecture Series (DBELS) “ゲノムに刻む抗体記憶”	6月20日（水） 12:00～13:15	東大病院中央診療棟（II期） 7階大会議室	医学系研究科 疾患生命工学センター 分子病態医科学 宮崎徹 URL: http://www.cdbim.m.u-tokyo.ac.jp/ Tel: 03-5841-1436 E-mail: tm@m.u-tokyo.ac.jp
第32回 東京大学農学部公開セミナー 「農学を創った人、農学が創ったもの」 ※1358号参照	6月23日（土） 13:30～16:30	弥生講堂・一条ホール	農学系総務課 総務チーム 総務・広報情報担当 TEL: 03-5841-5484,8179 E-mail: koho@ofc.a.u-tokyo.ac.jp
社会科学研究所 現代日本研究会 “The Politics of Change in Japan's Market for Corporate Control”	6月27日（水） 18:00～	赤門総合研究棟5F センター会議室	Shinichi Aizawa E-mail: aizawa@iss.u-tokyo.ac.jp URL: http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/
111回オルガン演奏会 ※1357号参照	6月28日（木） 18:30開演 （18:00開場）	教養学部900番教室（講堂）	大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会 TEL: 03-5454-6139（美術博物館） E-mail: cmaeda@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/
史料編纂所附属画像史料解析センター 開設10周年記念研究集会 「画像史料研究の成果と課題」 ※1357号参照	6月29日（金） 13:00～17:00	山上会館大会議室	画像史料解析センター開設10周年記念事業実行委員会 委員長: 林 謙 (hayashi@hi.u-tokyo.ac.jp) 幹事: 末柄 豊 (suegara@hi.u-tokyo.ac.jp) FAX: 史料編纂所事務室 (03-5841-5956)
「甘美なる聖母の画家 ベルギーノ展」 開催記念講演会	6月30日（土） 14:00～	文学部法文2号館1大教室	美術史学研究室 URL: http://www.l.u-tokyo.ac.jp/ E-mail: artist@l.u-tokyo.ac.jp
シンポジウム 「第2回東京大学の海研究—海から未来を考える—」 ※23ページ参照	7月4日（水） 9:30～	鉄門記念講堂	主催: 海洋アライアンス 事務局: 大学院工学系研究科環境海洋工学専攻 村山英晶 TEL/FAX: 03-5841-6514 E-mail: murayama@giso.t.u-tokyo.ac.jp
精神衛生・看護学教室50周年記念シンポジウム 「精神保健の100年：50年の到達点と今後50年の挑戦」	7月7日（土） 10:00～17:00	山上会館2F 大会議室	大学院医学系研究科精神保健学・看護学分野 森（助教）、中嶋（技術専門職員） TEL: 03-5841-3521/FAX: 03-5841-3392 URL: http://plaza.umin.ac.jp/heart/
文部科学省次世代IT基盤構築のための研究開発 第2回「革新的シミュレーションソフトウェアの研究 開発」シンポジウム ※24ページ参照	7月12日（木） 10:00～18:30 7月13日（金） 10:00～17:30	生産技術研究所 コンベンションホール	プロジェクト 事務局 TEL: 03-5452-6661 FAX: 03-5452-6662 E-mail: registration@rssl21.iis.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.rssl21.iis.u-tokyo.ac.jp/
21世紀COEプログラム「国家と市場の相互関係にお けるソフトウェア」第9回シンポジウム “Soft Law in Action: The Role of Private Ordering in Commercial Activities”	7月13日（金） 13:00～17:00 （受付12:30～）	東京国際フォーラム・ホールD 5	21世紀COEプログラム 「国家と市場の相互関係におけるソフトウェア」事務局 E-mail: coe-law@j.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.j.u-tokyo.ac.jp/coelaw/
東大家族ケア研究会 第5回家族ケアフォーラム	7月13日（金） 18:00～21:00	医学部1号館小講堂	大学院医学系研究科家族看護学分野内 東大家族ケア研究会代表 上別府圭子（事務局担当 尾関） TEL/FAX: 03-5841-3691 E-mail: todaikazoku-office@umin.ac.jp URL: http://www.m.u-tokyo.ac.jp/news/index.html
空間情報社会の到来：社会動向と空間統計学の普及 ※25ページ参照	7月18日（水） 13:20～16:40	山上会館大会議室	お問い合わせ：空間情報科学研究センター 小口 E-mail: oguchi@cssis.u-tokyo.ac.jp TEL: 04-7136-4301
行事名	開催期間	場所	連絡先・HP等
第35回生研公開講座イブニングセミナー 「都市と環境のフィールド調査の現場から」	5月11日（金） ～7月13日（金） （5月25日、6月1日 を除く各全曜日 全8回） 18:00～19:30	生産技術研究所 総合研究実験棟（An棟） 3階大会議室	生産技術研究所 総務・広報チーム TEL: 03-5452-6864/FAX: 03-5452-6071 URL: http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/
東京大学創立130周年記念事業特別展示 「遺丘と女神—メソポタミア原始農村の黎明」展	5月26日（土） ～9月2日（日） 月曜休館（月曜祝 日の場合は開館、 翌日休館） 10:00～17:00 （入館は16:30まで）	総合研究博物館 1階新館展示ホール	総合研究博物館 URL: http://www.um.u-tokyo.ac.jp/ （臨時休館の場合があるので、ホームページ要確認のこと）
総合研究博物館公開講座 「植物・動物・社会—西アジア考古学からみたドメス ティケーションの始まり」	6/20(水)、6/26(火) 7/3(火)、7/10(火) 15:00～17:00	総合研究博物館 展示ルーム内講義室	総合研究博物館 TEL: 03-5777-8600/FAX: 03-5841-8451 E-mail: web-master@um.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.um.u-tokyo.ac.jp/education/lecture_200706.html
初心者水泳講習会 ※27ページ参照	7/4(水)～7/6日(金) 7/11(水)～7/13(金) 各日とも18:00～ 19:30	御殿下記念館プール	学生部学生課体育チーム（内線：22509～22511）
夏期集中 生命・医療倫理学入門コース ※26ページ参照	8月2日(木)13:00～ 5日(日)15:30 <募集期間：6月4 日(月)～6月29日 (金)>	本郷キャンパス 医学部教育研究棟	生命・医療倫理人材養成ユニット URL: http://square.umin.ac.jp/CBEL/ FAX: 03-5841-1107

編集後記

昨年の1338号では、本郷構内を清掃してくれる環境整備チームを紹介しました。今号では、自転車置き場を美しく整頓してくれる自転車整理スタッフを紹介しています。どちらも本学における障害者雇用の一環です。このような試みは男女共同参画や留学生対応と同様、東京大学が多様化していくための大切なプロセスなのではないでしょうか？ 東大という国の住人として、様々な人々が共存する環境が成熟していくことに、喜びを感じる今日この頃です。（し）

Contents

特集

- 02 自転車整理スタッフ、活躍中。
～施設部における障害者雇用の新たな取り組み～

NEWS

一般ニュース

- 05 学生部
平成19年度（前期）東京大学学術研究活動等奨励事業（国外）の採択決まる
- 06 学生部
「東京大学外国人留学生特別奨学制度平成19年度研究奨励費受給者証書授与式」を開催
- 06 研究協力部
事務職員による海外研修報告会を開催
- 07 AGS推進室、
サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）
映画「不都合な真実」東京大学上映会開催報告

部局ニュース

- 08 大学院法学政治学研究科・法学部、
大学院公共政策学教育部
新入生歓迎会、外国人留学生等との懇談会を開催
- 08 史料編纂所
「日本関係清代档案をめぐる国際研究集会」を開催
- 09 大学院医学系研究科・医学部
加藤尚武・京都大学名誉教授が生命・医療倫理人材養成ユニットに特任教授として着任

キャンパスニュース

- 10 学生部
五月祭開催される
- 10 学生部
平成19年5月1日現在学生数
一学部学生14,241人、大学院学生13,622人、
研究生等761人
- 13 学生部
平成18年度学部卒業生及び大学院修了者の就職状況

- ◆ 表紙写真 ◆ 本郷構内自転車整理作業中のヒトコマ
(2ページに関連記事)

コラム

- 19 新連載 Step by Step東大基金通信 第1回
19 調達本部です 第29回
- 20 Crossroad～産学連携本部だより～Vol.18
- 21 インタープリターズ・バイブル Vol.5
- 21 Relay Column「ワタシのオシゴト」 第15回
- 22 コミュニケーションセンターだより No.35
- 22 噴水 教育学部附属中等教育学校で遠足が実施される

INFORMATION

シンポジウム・講演会

- 23 海洋アライアンス
「第2回東京大学の海研究—海から未来を考える—」のご案内
- 24 生産技術研究所
文部科学省次世代IT基盤構築のための研究開発
第2回「革新的シミュレーションソフトウェアの研究開発」シンポジウムのご案内
- 25 空間情報科学研究センター
空間情報シンポジウム

募集

- 25 AGS推進室
平成19年度 東京大学AGS研究会
研究課題の募集
- 26 大学院医学系研究科・医学部
生命・医療倫理人材養成ユニット
夏期集中生命・医療倫理学入門コース
申込み受付開始

お知らせ

- 27 大学院工学系研究科・工学部
イアエステ国際インターンシップ派遣説明会開催のお知らせ
- 27 学生部
初心者水泳講習会の開催について

事務連絡

- 29 人事異動（教員）

EVENT LIST

淡青評論

- 32 知識社会を支える基盤組織としての自覚を



七徳堂鬼瓦

知識社会を支える基盤組織としての自覚を

近未来にはそれぞれの分野の知識水準がますます高度かつ複雑になり、一つの領域の専門的知識を身につけるのに二〇代終わりくらいまでかかるような社会になるかもしれない。休業期間の長さの問題はともかく、本物の専門的知識がもつ重要性が今後一層大きくなることはまず間違いないだろう。だが、知識社会に向けた準備は本当にできているのか。

最近気になるのは、専門家の知見を蔑ろにするような空気が社会の一部に見受けられるということだ。そんな空気が醸成されることを許した専門家の側の責任もあるのかもしれないが、外部への広報作業にエネルギーを取られ、結果的に肝腎の専門的生産のペースが落ちるようでは、本末転倒も甚だしい。むしろ、「寝食も忘れて」という、研究者なら誰もが若い頃には一度は経験したあの貴重な経験こそを、個人ではなく、組織の至高体験として位置づけるべきだ。研究者にとっては最高のその種の体験が何度も起こりやすいような環境を整備することこそが、組織のプレーンにとって最大の任務なのだ。そして、組織の構成員は上層部への一定の信頼に基づきながら、些末な事項の決定権を権限委譲することを恐れる必要はない。そうすれば、つまらないことで会議を開く必要性が減る。われわれは会議で居眠りをするために研究者になったのではない。それは、そうとう厳しい監査と一体化しなければ無理だろうが、実現不可能ではないはずだ。

「研究よりも教育を」などというお題目にはおごなりに対応しよう。徹底的な研究水準の向上をこそ、大学の中心的課題として設定すべきだ。「鬼気迫る」研究者の顔を見れば、学生は自然に後からついてくる。人間が蓄積してきた知識群の様子は、もはや一種の超越性を身につけ始めている。研究者が目指すべきなのは、他の研究者との間の競争関係の中での自己定位ではなく、その超越した知識への憧憬を持ち続けることではないだろうか。

金森 修 (大学院教育学研究科・教育学部)

(淡青評論は、学内の教職員の方々をお願いして、個人の立場で自由に意見を述べていただく欄です。)

この「学内広報」の記事を転載・引用する場合には、事前に広報委員会の了承を得、掲載した刊行物若干部を広報委員会までお送りください。なお、記事についての問い合わせ及び意見の申し入れは、総務部広報課を通じて行ってください。

No. 1359 2007年6月13日
東京大学広報委員会

〒113-8654
東京都文京区本郷7丁目3番1号
東京大学総務部広報課
TEL : 03-3811-3393
e-mail : kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp
<http://www.u-tokyo.ac.jp>